

浦戸小学校西舎外壁改修工事

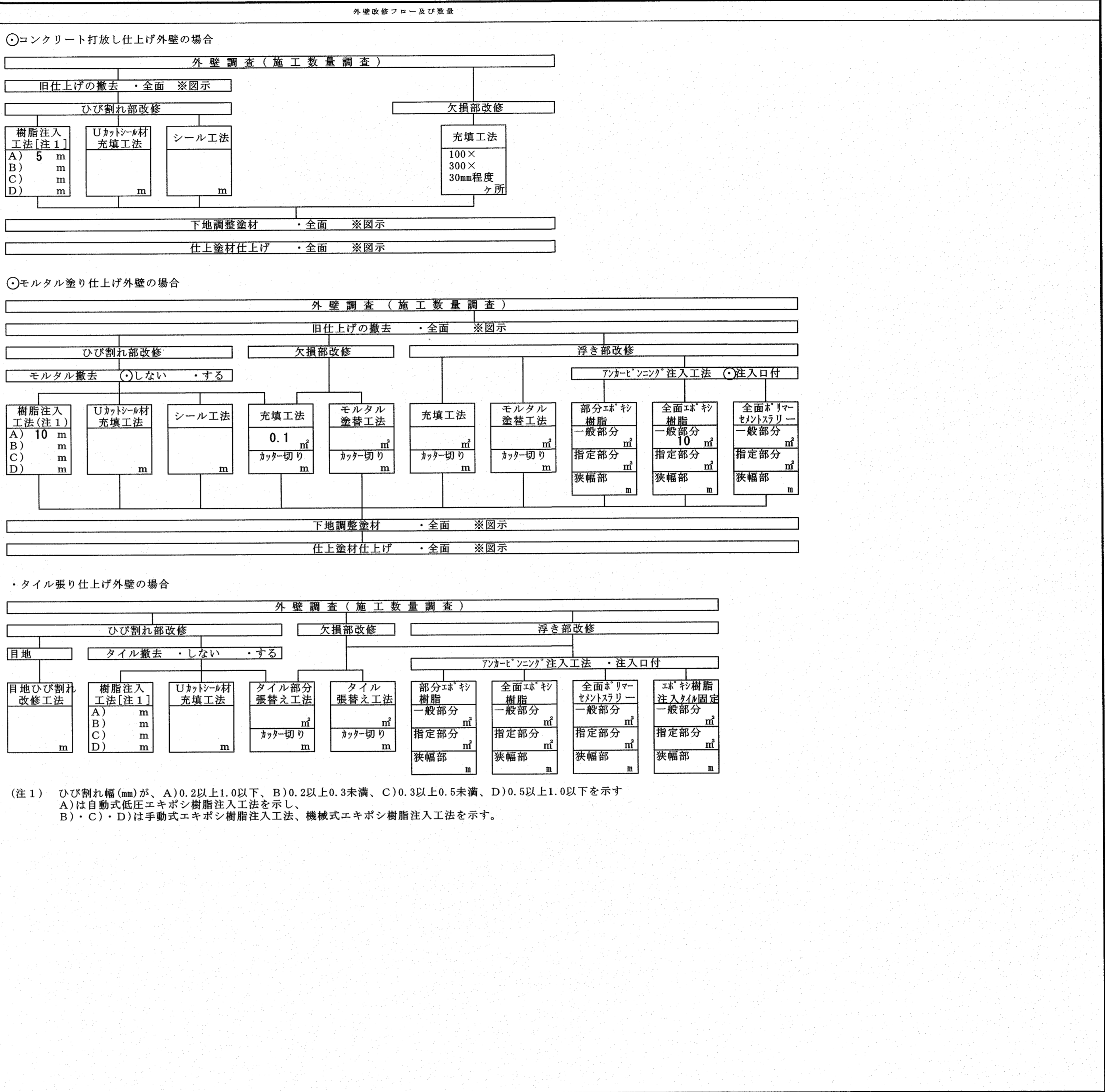
図面番号	図面名
A - 1	改修特記仕様書 (1)
A - 2	改修特記仕様書 (2)
A - 3	改修特記仕様書 (3)
A - 4	改修特記仕様書 (4)
A - 5	配置図兼仮設計図、付近見取り図
A - 6	1階、2階平面図
A - 7	3階、屋上平面図
A - 8	立面図
A - 9	矩計図、各種断面図
A - 10	1階天井伏図
A - 11	2階、3階天井伏図
A - 12	耐震ブレース廻り詳細図
A - 13	1階、2階建具配置図【参考図】
A - 14	3階建具配置図【参考図】
A - 15	建具表1【参考図】
A - 16	建具表2【参考図】
A - 17	屋外鉄骨階段詳細図1【参考図】
A - 18	屋外鉄骨階段詳細図2【参考図】
A - 19	屋外階段詳細図【参考図】

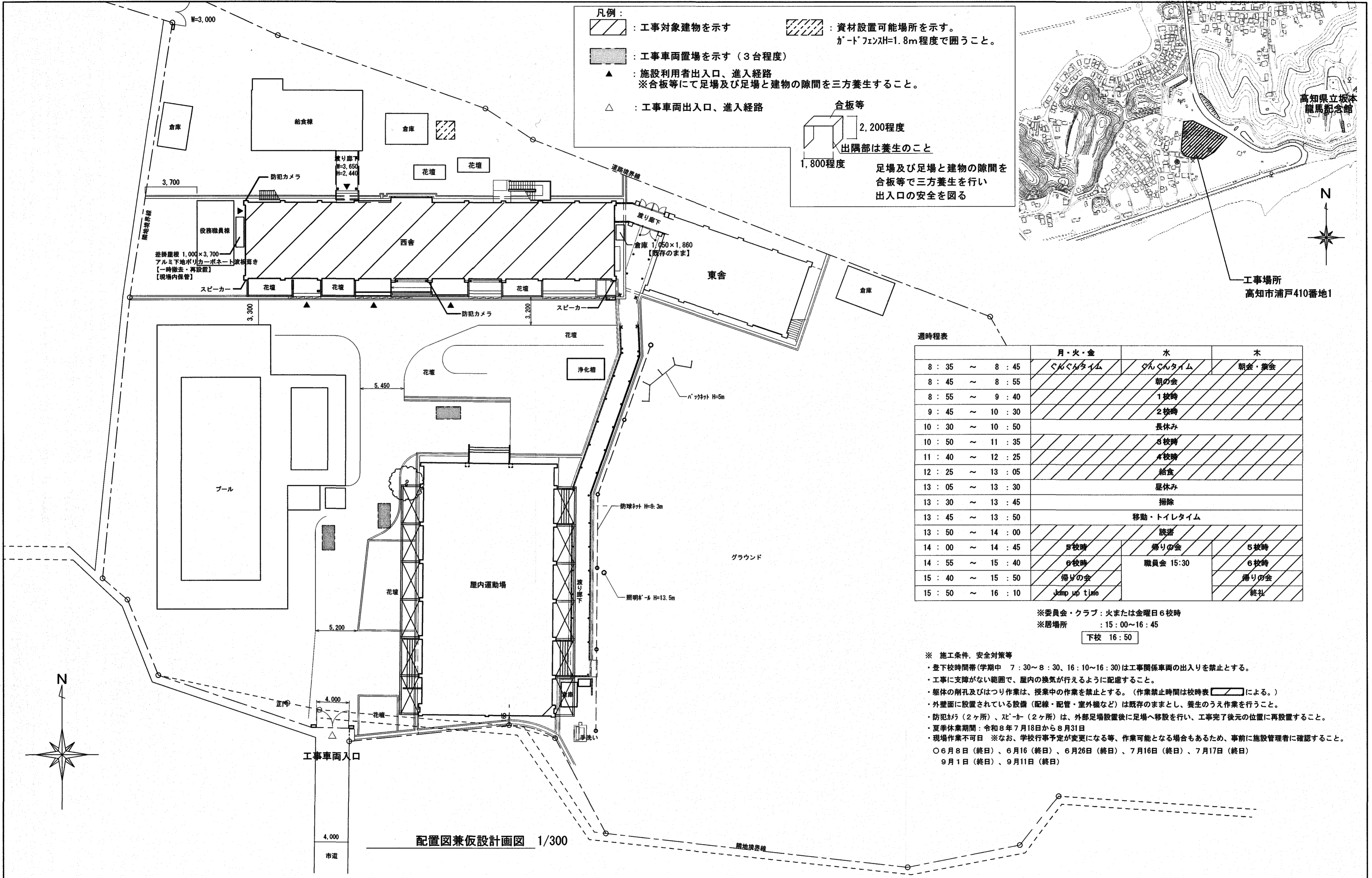
2026.04		項目	特記事項	項目	特記事項																																																		
浦戸小学校西舎外壁改修工事 特記仕様書 I 工事概要 1. 工事場所 高知市浦戸410番地1 2. 工事種目 【西舎】 鉄筋コンクリート造 3階建て 延べ面積1,280.22㎡ 1) 外壁改修 一式 3. 関連工事等 ・電気設備工事 ・機械設備工事 ・ガス設備工事 ・昇降機設備工事 ・植栽工事 ・合併処理装置設置工事 ・外構工事 4. 概成工期 ・完成期限の()日前 (令和 年 月 日) 5. 部分使用(工事請負契約書第34条第1項) 令和 年 月 日からは、全ての室内部分を使用する。 II 建築工事仕様 1. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。 3) 特記事項に記載の()内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の()内表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の()内表示番号は、「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 2. 適用基準等 図面及び特記事項に記載されていない事項は、全て国土交通省(建設)大臣官房官庁営繕部監修の以下による。 ・公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ・公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ・建築工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ・敷地調査共通仕様書 (令和4年版) ・建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版) 3. 「週休2日制工事」の実施について ※対象 ○選択-I型 ・選択-II型) 本工事は、工事着手日から工事完成日までの間の土曜日及び日曜日を現場の休日の基本とする 「週休2日制工事」の対象工事である。実施にあたっては高知市「週休2日制工事」実施要領 (営繕工事編)による。 (https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/syukyuhutsuka.html) ・対象外(理由:) 4. 「猛暑による作業不能日数」の実施について ※対象 ・見込んでいない(理由: ※過去のWBGT値に基づき算定した日数が0日のため) ・見込んでいる(作業不能日数: ※現場説明書による) ・対象外(理由:)		項目 ⑩ 工事安全計画書 ⑪ 統括安全衛生管理義務者の指名 ⑫ 発生材の処理 ⑬ 再生資源利用(促進)計画書及び実施書の提出 (請負金額100万円以上) ⑭ 工事の保険 ⑮ 契約保証 ⑯ 前払金支出割合区分補正 ⑰ 証明書の提出(グリーン購入法) ⑱ 石綿含有建材の調査	配置人員の資格 ・1名以上/1班は交通誘導警備業務に係る検定合格者(1級又は2級)を配置する工事。 ※交通誘導に関し、1名以上/1班は専門的な知識及び技能を有する警備員等を配置する工事。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格</th> <th>資格要件</th> <th>配置人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 2級交通誘導警備(交通誘導警備員A)</td> <td>交通誘導警備に関して、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識及び技能を有すると認められたもの</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>交通誘導に関し、専門的な知識及び技能を有する警備員等(交通誘導警備員B)</td> <td>警備業法における指定講習を受講したものの警備業法における基本的基礎教育及び業務別教育(警備業法第2条第1項第2号の警備業務)を現に受けているもので、交通誘導に関する警備業務に従事した期間(実務経験年数)が1年以上であるもの</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table> なお、事前に監督職員に検定合格証の写し等の資格要件の確認できる資料を提出する。 また、警備員等に変更が生じた場合は、速やかに監督職員に同様の資料を提出する。 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。 労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名をする。 産業廃棄物の運搬、処分等については、1.3.12により適切に処分するものとし、[1.3.12] 事前に監督職員に処理計画書を提出する。 産業廃棄物の運搬、あるいは処分を他業者に委託する場合は、書面による委託契約を行い、 処理計画書にその写しを添付する。 自己処分場での処分する場合は、その処分場が関係法令の規定に適合する旨の資料を提出し、監督職員 の現地立会を受けたうえで承諾を得る。(積替・保管についても同様とする) 産業廃棄物の収集・運搬に当たっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下廃棄物処理法という) 施行令に基づく車両への表示及び書面の備え付けを行うこと。 また、産業廃棄物を搬出する車両について、処分場ごとに1台のみ写真撮影(現場搬出時及び処分場 到着時)し、随時監督職員に報告する。 廃棄物処理法を遵守し、工期内に最終処分(埋立処分、海洋投入処分又は再生)を終了しなければなら ない。 また、産業廃棄物管理票(以下マニフェストという)により適正に処理されていることを確認するとと もに、監督職員にそのE票の写しを提出する。 ただし、廃棄物処理法を遵守した上で、工期内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合 で、監督職員が認める場合には、工区内に中間処理業者への搬入を認認するとともに、監督 職員にそのB2票の写しを提出する。また、最終処分終了後速やかにE票の写しを提出する。 なお、廃棄物処理法に定める電子情報処理組織を使用する場合は別途協議する。 ・引渡しを要するもの () ・現場再利用を図るもの () ・再資源化を図るもの (※コンクリート ※コンクリート及び鉄から成る建設資材 ※コンクリート ※アスファルトコンクリート) 特別管理産業廃棄物の施工計画調査 ※行う ・行わない 分析調査 ※施工計画調査の結果により、監督職員と協議する。 ・行う () ・行わない () <table border="1"> <thead> <tr> <th>PCBを含む機器類</th> <th>PCB含有シーリング材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・変圧器 ・コンデンサ ・蛍光灯、HID灯具の安定器 ・その他()</td> <td>・廃油 ・廃酸 廃アルカリ ・ 酸化リチウム水溶液 ・電池の溶解液 ・ダイオキシン類</td> </tr> </tbody> </table> 再生資源利用(促進)計画書及び実施書を、建設副産物情報交換システム(コプリス・プラス)により 作成し、提出は以下による。 a) コプリス・プラスについては、建設副産物情報センターのホームページ (https://fkplus.jacic.or.jp)より、利用申請等を行うことができる。 b) 建設資材の利用量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用計画書及び実施書(建設リサ イクルガイドライン様式1)を、完成資料として監督職員に提出する。 c) 建設副産物の発生量及び搬出量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用促進計画書及び 実施書(建設リサイクルガイドライン様式2)を、完成資料として監督職員に提出する。 d) 受注者は再生資源利用(促進)計画書(現場指示用様式)を工事現場の見やすい場所に掲げること。 e) 受注者は作成したデータを含め、再生資源利用(促進)計画書及び実施書を工事完成後5年間保存 する。 工事請負契約後、速やかに工事目的物、工事材料等に生じる損害、第三者に及ぼした損害を補償する 保険を締結する。保険期間は、工事着工のときから完成期限より24日後以降までの期間とする。 ※ 金銭的保証方式 ・有 ○無 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)及び「高知県グリーン購入 基本方針及び実施計画」に基づき、重点調達品目については、積極的に利用すること。なお、重点調 達品目の中で木材・木材製品等においては、その原料とされる原木が生産された国における森林に關 する法律に照らして合法なものを使用する。 木材・木材製品等については、県産木材納入証明書、県外産合法木材納入証明書を監督職員に提出す ること。 [1.4.2] 事前調査の報告 一定規模以上の工事は労働基準監督署と高知市に報告が必要となる [1.5.1] 事前調査範囲 ※ 改修範囲 貸与資料 ※ 有 (・既存の設計図書 ○石綿分析結果報告書) ・ 無 (・外壁複層塗材E含有無) 分析調査 ※ 書面調査及び現地での目視調査の結果により、監督職員と協議する。 ・ 行う (調査建材使用部位 調査建材名 検体数) 分析方法 ※ 定性分析 定性分析の結果により、定量分析を行う場合は監督職員と協議する。	資格	資格要件	配置人数	1. 2級交通誘導警備(交通誘導警備員A)	交通誘導警備に関して、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識及び技能を有すると認められたもの	人	交通誘導に関し、専門的な知識及び技能を有する警備員等(交通誘導警備員B)	警備業法における指定講習を受講したものの警備業法における基本的基礎教育及び業務別教育(警備業法第2条第1項第2号の警備業務)を現に受けているもので、交通誘導に関する警備業務に従事した期間(実務経験年数)が1年以上であるもの	20人	PCBを含む機器類	PCB含有シーリング材	・変圧器 ・コンデンサ ・蛍光灯、HID灯具の安定器 ・その他()	・廃油 ・廃酸 廃アルカリ ・ 酸化リチウム水溶液 ・電池の溶解液 ・ダイオキシン類	⑲ 施工数量調査 調査範囲 ※ 図示 ○改修建築物の外壁、軒天、パラペット [1.6.2] 調査方法 ※ 外部足場を使用した目視及び打診 破損部分の補修方法 ※ 現状に復旧 外壁調査は、外壁改修フローに対する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび 割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。 また、その調査の結果を立面図等に記載し集計表を添えて電子データと共に、監督職員に報告 する。(必要に応じ写真等添付する) ※ 適用する (○:一級, ●:二級) [1.7.2][1.7.3] <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種別</th> <th>技能検定の作業の種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○板設工事</td> <td>※ ●とび作業(又は足場組立作業主任者)</td> </tr> <tr> <td>・鉄筋工事</td> <td>※ ○鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート工事</td> <td>・ ○コンクリート圧送工事作業 ・ ○型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td>・鉄骨工事</td> <td>※ ●とび作業</td> </tr> <tr> <td>・ブロック・ALCパネル工事</td> <td>・ ○コンクリートブロック工事作業 ・ (単一)ユーエールシーパネル工事作業 ・ ○アスファルト防水工事作業 ・ ○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○合成ゴムシート防水工事作業 ・ ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ ○セメント系防水工事作業 ○ ○シーリング防水工事作業 ・ ○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ ○FRP防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>○防水工事</td> <td>・ ○コンクリートブロック工事作業 ・ (単一)ユーエールシーパネル工事作業 ・ ○アスファルト防水工事作業 ・ ○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○合成ゴムシート防水工事作業 ・ ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ ○セメント系防水工事作業 ○ ○シーリング防水工事作業 ・ ○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ ○FRP防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・石工事</td> <td>※ ○石張り作業</td> </tr> <tr> <td>・タイル工事</td> <td>※ ○タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>・木工事</td> <td>※ ○大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>・屋根及びとい工事</td> <td>※ ○かわらぶき ・ ●スレート工事作業 ・ ○内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>・金属工事</td> <td>※ ○鋼製下地工事作業 ・ (単一)金属製バルコニー工事作業</td> </tr> <tr> <td>・左官工事</td> <td>※ ○左官作業</td> </tr> <tr> <td>・建具工事</td> <td>※ ○ビル用サッシ施工作業 ・ ○木製建具製作 ・ ○ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>・カーテンウォール工事</td> <td>※ ○金属製カーテンウォール工事作業</td> </tr> <tr> <td>・塗装工事</td> <td>※ ○建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>・内装工事</td> <td>・ ○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ ○壁装作業 ・ ●カーペット系床仕上げ工事作業 ・ ○畳製作作業 ・ ○ボード仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td>・植栽工事</td> <td>※ ○造園工事作業</td> </tr> <tr> <td>○その他</td> <td>○ 樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) 又は(単一)樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) ・ ○家具手加工作業</td> </tr> </tbody> </table> 通用する技能士について、当該資格を有することが確認できる書類及び資格者が特定できる書類(運 転免許証等)の写しを提出する。 21 化学物質の室内濃度の測定 化学物質の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、 [1.7.9] 報告書を監督職員に提出する。 ただし、完成検査前に報告書の提出が困難な場合は、事前に信頼のおける連報等の資料を監督職員に 提出する。この場合、後日に正式な報告書を速やかに監督職員に提出しなければならない。 測定する業者の選定にあたっては、あらかじめ監督職員に報告すること。 測定方法 ※ 厚生労働省「室内空气中化学物質の室内濃度指針値及び標準的測定方法について」による。 測定対象化学物質 ※ホルムアルデヒド ※パラジクロロベンゼン ※キシレン ※エチルベンゼン ※スチレン ※パラジクロロベンゼン 測定箇所 ()箇所 施工前・施工後(計 回測定) 測定対象室 () なお、測定結果が厚生労働省の定める指針値を超えている場合は、原則として本工事の引き渡しを 行わないこととする。ただし、次のいずれかに該当する場合は除く。 1 何らかの対策が施された場合は、揮発性有機化合物の濃度が厚生労働省の定める指針値以下とな ったことが確認された場合。 2 濃度測定の結果が、本工事の施工により生じたものでないことが明確である場合。 3 濃度測定が、使用開始後(備品の搬入等を含む)に行われた場合。 本工事の引き渡し後、あるいは、(備品搬入後)に室内の揮発性有機化合物(VOC)の濃度測定が行われ、 測定結果が厚生労働省の指針値を超えている場合については、受注者は、工事引き渡し後 であっても、その原因究明に当たっては、協力しなければならない。 また、本工事の施工が原因となって、化学物質の濃度が厚生労働省の定める指針値を超え たものであることが判明した場合は、受注者の負担により、その対策を講じなければならない。 ⑳ 直接仮設の養生 内部養生に合板又は構造用パネルを使用する場合、その合板または構造用パネルのホルムアルデヒ ド放散量はF☆☆☆☆、又はそれと同等と認められる製品を使用する。 ㉑ 建築材料等 本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれ らと同等のものとする。(記載順序は不同)また、「評価名簿による」「評価名簿による」と特記されたものについては、 (一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質評価事業建築材料等評価名簿」による もの、又は評価の内容についてこれらと同等と認められるものとする。 ただし、同等とする場合は、監督職員の承諾を受ける。 県内産資材の優先使用 本工事に使用する資材は、機能、品質、価格等が同等であれば、県内産資材を優先して使用するもの とする。なお、県外産資材を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打合せ事項に記載し、監督 職員の確認を受けること。 注1: 県内産資材とは、高知県内で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工した資材、 又は高知県外で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工された資材をいう。 ただし、①木材は、高知県内の森林から生産されたもの、②生コンクリートの細骨材に配合する 海砂は、高知県内で産出されたものとする。 注2: 県外産資材とは、県内産資材以外の資材をいう。 ㉒ 特別な材料の工法 公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて当該材料 製造所の指定する工法による。 ㉓ 風圧力 本工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定める風圧力に対応したものとし、速度圧を 求める場合の風速(Vo)及び地表面粗土区分は、次の数値とする。 風速(Vo): ※ 38m/sec ・ 36m/sec 地表面粗土区分: ※ III ○ II ㉔ 仕上面の出隅処理 内外部とも仕上出隅で利用者の手の届く範囲は、図示が無くとも原則として全て面取りを施す。 木部(家具を含む) 6mm程度 コンクリート、モルタル部 20mm程度 鉄部、金属部 3mm程度 建具類等、上記により難しい場合は、監督職員と協議する。	工事種別	技能検定の作業の種別	○板設工事	※ ●とび作業(又は足場組立作業主任者)	・鉄筋工事	※ ○鉄筋組立作業	・コンクリート工事	・ ○コンクリート圧送工事作業 ・ ○型枠工事作業	・鉄骨工事	※ ●とび作業	・ブロック・ALCパネル工事	・ ○コンクリートブロック工事作業 ・ (単一)ユーエールシーパネル工事作業 ・ ○アスファルト防水工事作業 ・ ○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○合成ゴムシート防水工事作業 ・ ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ ○セメント系防水工事作業 ○ ○シーリング防水工事作業 ・ ○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ ○FRP防水工事作業	○防水工事	・ ○コンクリートブロック工事作業 ・ (単一)ユーエールシーパネル工事作業 ・ ○アスファルト防水工事作業 ・ ○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○合成ゴムシート防水工事作業 ・ ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ ○セメント系防水工事作業 ○ ○シーリング防水工事作業 ・ ○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ ○FRP防水工事作業	・石工事	※ ○石張り作業	・タイル工事	※ ○タイル張り作業	・木工事	※ ○大工工事作業	・屋根及びとい工事	※ ○かわらぶき ・ ●スレート工事作業 ・ ○内外装板金作業	・金属工事	※ ○鋼製下地工事作業 ・ (単一)金属製バルコニー工事作業	・左官工事	※ ○左官作業	・建具工事	※ ○ビル用サッシ施工作業 ・ ○木製建具製作 ・ ○ガラス工事作業	・カーテンウォール工事	※ ○金属製カーテンウォール工事作業	・塗装工事	※ ○建築塗装作業	・内装工事	・ ○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ ○壁装作業 ・ ●カーペット系床仕上げ工事作業 ・ ○畳製作作業 ・ ○ボード仕上げ工事作業	・植栽工事	※ ○造園工事作業	○その他	○ 樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) 又は(単一)樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) ・ ○家具手加工作業
資格	資格要件	配置人数																																																					
1. 2級交通誘導警備(交通誘導警備員A)	交通誘導警備に関して、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識及び技能を有すると認められたもの	人																																																					
交通誘導に関し、専門的な知識及び技能を有する警備員等(交通誘導警備員B)	警備業法における指定講習を受講したものの警備業法における基本的基礎教育及び業務別教育(警備業法第2条第1項第2号の警備業務)を現に受けているもので、交通誘導に関する警備業務に従事した期間(実務経験年数)が1年以上であるもの	20人																																																					
PCBを含む機器類	PCB含有シーリング材																																																						
・変圧器 ・コンデンサ ・蛍光灯、HID灯具の安定器 ・その他()	・廃油 ・廃酸 廃アルカリ ・ 酸化リチウム水溶液 ・電池の溶解液 ・ダイオキシン類																																																						
工事種別	技能検定の作業の種別																																																						
○板設工事	※ ●とび作業(又は足場組立作業主任者)																																																						
・鉄筋工事	※ ○鉄筋組立作業																																																						
・コンクリート工事	・ ○コンクリート圧送工事作業 ・ ○型枠工事作業																																																						
・鉄骨工事	※ ●とび作業																																																						
・ブロック・ALCパネル工事	・ ○コンクリートブロック工事作業 ・ (単一)ユーエールシーパネル工事作業 ・ ○アスファルト防水工事作業 ・ ○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○合成ゴムシート防水工事作業 ・ ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ ○セメント系防水工事作業 ○ ○シーリング防水工事作業 ・ ○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ ○FRP防水工事作業																																																						
○防水工事	・ ○コンクリートブロック工事作業 ・ (単一)ユーエールシーパネル工事作業 ・ ○アスファルト防水工事作業 ・ ○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○合成ゴムシート防水工事作業 ・ ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ ○セメント系防水工事作業 ○ ○シーリング防水工事作業 ・ ○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ ○FRP防水工事作業																																																						
・石工事	※ ○石張り作業																																																						
・タイル工事	※ ○タイル張り作業																																																						
・木工事	※ ○大工工事作業																																																						
・屋根及びとい工事	※ ○かわらぶき ・ ●スレート工事作業 ・ ○内外装板金作業																																																						
・金属工事	※ ○鋼製下地工事作業 ・ (単一)金属製バルコニー工事作業																																																						
・左官工事	※ ○左官作業																																																						
・建具工事	※ ○ビル用サッシ施工作業 ・ ○木製建具製作 ・ ○ガラス工事作業																																																						
・カーテンウォール工事	※ ○金属製カーテンウォール工事作業																																																						
・塗装工事	※ ○建築塗装作業																																																						
・内装工事	・ ○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ ○壁装作業 ・ ●カーペット系床仕上げ工事作業 ・ ○畳製作作業 ・ ○ボード仕上げ工事作業																																																						
・植栽工事	※ ○造園工事作業																																																						
○その他	○ 樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) 又は(単一)樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) ・ ○家具手加工作業																																																						
項目 一般共通事項 ① 工事実績情報サービス(CORINS)への登録(請負金額500万円以上)(受注、変更、完成時) [1.1.4] 登録の手続きについては、(一財)日本建設情報総合センターの「建設実績情報のコリンズ テクリス登録等に関する規約」による。 2 総合工程表 原則、工事の着手に先立ち、別契約関連工事の受注者と協議し、受注者及び別契約関連工事の受注者 連名による総合工程表を監督職員に提出する。 3 総合図 工事の施工に先立ち別契約関連工事の受注者と調整のうえ、総合図を作成し、監督職員の [1.2.3] 承諾を受ける。 ④ 工事日誌 週ごとに工事の全般的な経過及び次週の工事予定を記載した日誌を監督職員に提出する。 [1.2.4] また、工事の経過が明確にわかる写真を貼付すること。 ⑤ 工事写真 工事写真は1版程度とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し1部提出する。(A4版台紙) [1.2.4] 撮影方法は、「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」による。 デジタル工事写真の黒板情報電子化の実施をする場合は、監督職員の承諾を受ける。 なお、実施については、国営建設第14号(令和5年3月1日付)「デジタル工事写真の黒板情報電子 化について」による。 ⑥ 下請負者の報告 各下請負者については下請負契約前に監督職員に報告する。 7 電気保安技術者 適用する。 [1.3.3] ⑧ 施工条件 施工日及び施工時間 ※1.3.5(1)(7)による。 [1.3.5] ・ 施工順序 ・ 図示 工事用車両の駐車場所及び資機材の置場所 ※ 仮囲い ○ 図示 その他の施工条件 ○資機材の搬入時には、専任の誘導員を配置する。その他の場合でも、工事関係車両(乗用車も含 む)が敷地内を通行する際には必ず誘導するものをつけ、公道まで徐行する。 ○登下校時間帯や休み時間等は車両の通行を中止する等必要な配慮をする。 ○A-05 ⑨ 交通誘導警備員 交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法(昭和47年法律第117号)第4条による認定を 受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員等の他職種の者を従事させないこととする。 ただし、一時的な作業等で、安全確保に対処できると監督職員が認めたものについては、この限りで ないものとする。 配置人員等 ・ 令和 年 月 日から令和 年 月 日までは 名常駐する。 ・ 作業日は 名常駐する。その他監督職員と協議し、適宜配置する。 ○監督職員と協議し、適宜配置する。		工事名 浦戸小学校西舎外壁改修工事 係 係長 課長補佐 課長 図面番号 A-1 図面名 改修特記仕様書(1) 2026.04 縮尺 1/																																																					

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
27 事業損失補償	※現場説明書による。	5 監督職員の備品等	備品等の設置 [2.4.1] 備品の種類 机・椅子 書 櫃 黒 板 P C 掛 時計 数 量 組 台 枚 台 個 備品の種類 温度計 ゴム長靴 雨がっぱ 保護帽 懐中電灯 数 量 個 足 着 個 備品の種類 衣類ロッカー 冷暖房機器 消火器 湯沸器 加入電話付機器 数 量 人用 台 個 台 台 備品の種類 掃除具 数 量 個	⑤ シーリング	シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.4~3.7.7][表3.1.2] ○シーリング充填工法 ○シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ・ボンドグレーカー張り ・適用する [3.7.7] ・エッジング材張り ・適用する シーリング材の種類、施工箇所 [3.1.4][3.7.2][表3.7.1] ※下表による(下表以外は表3.7.1による) 種類(記号) 主成分による区分 施工箇所 ・SR-1 シリコン系 ・SR-2 変成シリコン系 図示 ・MS-2 ポリサルファイド系 ・PS-2 ポリウレタン系 図示 ・PU-2 仕上げを行わない箇所 () [表3.7.1] シーリング材の目地寸法 [3.7.3] 箇所 打継ぎ/ひび割れ誘発目地 ガラス回りの目地 左記以外の目地 幅(mm) ※20以上 ※幅及び深さ5以上[5.13 ※10以上 深さ(mm) ※10以上 ※3]による場合を除く ※10以上 接着性試験 [3.7.8] ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 材料 [3.8.2][表3.8.1] 材 種 寸 法 施 工 箇 所 ・硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ※たてどい ・硬質ポリ塩化ビニル管カラー(カラーVP) ※たてどい ・硬質塩化ビニル雨どい ※軒どい ・たてどい とくい受金物及び足金物の材質、形状及び取付け間隔 [3.8.2] 材質: ※ステンレス製 ・溶融亜鉛めっき その他: ※表3.8.2による 防露材のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆ [3.8.2] 既存のとくいその他の撤去 ※図示 降雨等に対する養生方法 ※監督職員と協議による ・図示 [3.8.3] 鋼管製といた防露巻き ・表3.8.4による たてどい受金物の取付け ・図示 ルーフドレンの取付け ・水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する。 受注者、施工者、材料製造所連名による 10年保証(完成届提出日より15日後から) JIS K 5675 (屋根用高日射反射率塗料)に適合するもの、または、グリーン購入法の高日射反射率防水に適合する保護塗料とする。
29 完成写真	下表のものを監督職員に提出する。 位置 分類・規格 撮影枚数 部 数 原画の大きさ(mm) ・各室 手札版(L版) ※2枚・枚 ※1部・部 ・100×125以上 ・外部 キャビネ版 ※4枚・枚 ※1部・部 ・24×36以上 ・外部 半切パネル(木製枠※アルミ枠) ※1枚・枚 ※1部・部 ・ スライド ※1部・部 カラー・電子データ化(CD-R等)し、すべて提出する。 撮影箇所は監督職員と協議する。 上表のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等にて提出する。 画像形式等 フォーマット: JPEG 画質: 標準 画像サイズ: 1024×768ピクセル程度	⑥ 工事用水・電力	構内既存の施設(用水) ○利用できる (※有償・無償) ※利用できない 構内既存の施設(電力) ○利用できる (※有償・無償) ※利用できない 構内既存の施設を利用できる場合、無償の場合は、下記a)~c)による。 a) 既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は、監督職員と協議する。 b) 既存のコンセントから直接電力を使用する場合は、監督職員と協議する。 c) 工事用電源を既存建築物から分岐する場合は、原則、既設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお、接続する回路の負荷状態を確認し、既設負荷への波及がないようにする。 また、漏電遮断器付コンセント等を使用し、安全の確保を図る。 構内既存の施設を利用できる場合、有償の場合は、上記a)~c)に下記d)~e)を加える。 d) 工事用水は、既存設備に量水器を付けて、仮設配管を施工使用するものとする。 e) 工事用電力は、原則、既存設備に電力計を付けて、仮設配電盤を設置し、使用するものとする。 四国電力送配電網などの架空線に防護管の設置が必要な場合は、監督職員と協議する。 ※図示 ※原形の復旧 ・良土にて設計地盤まで盛土整地する。 範囲(図示) 厚さ() [2.5.1]	6 とい	7 保証書 (シーリング除く) 8 高日射反射率塗料塗り
30 別途設備工事との取合い	施工範囲 ・貫通孔、開口部の補強 ※下表 ・図示 ・壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※下表 ・図示 ・駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強	⑦ 仮囲い ⑧ 仮設物撤去後の整地・跡片付け	防水改修工事 ① 降雨等に対する養生方法 ※3.1.3(5)による [3.1.3] ② 既存下地の処理 既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ※図示 [3.2.6] 設備機器架台、配管受部、バラベント、貫通パイプ回り、手すり・丸墨の取付け部、塔屋出入口部、防水層末端部等の納まり部の処理 ※図示(図示のない場合は監督職員と協議による) ・製造所の仕様による [3.5.2][表3.5.1~表3.5.2] 工法 種別 施工箇所 厚さ(mm) 種類 使用量 高日射反射率塗料の適用 備考 ・POS ・S4S ・S-F1 ※1.2 ※製造所の仕様による 改修用1° ・S-F2 ※2.0 ※製造所の仕様による 設ける ・S-M1 ※1.5 ※製造所の仕様による 設けない ・S-M2 ※1.5 ・S3S ・S-F1 ※1.2 ※製造所の仕様による 改修用1° ・S-F2 ※2.0 ※製造所の仕様による 設ける ・S-F1 ※1.2 ※製造所の仕様による 設けない ・S-F2 ※2.0 ※製造所の仕様による 設けない ・M4S ・S-M1 ※1.5 ※製造所の仕様による 改修用1° ・S-M2 ※1.5 ※製造所の仕様による 設けない ・POSI ・SI-F1 ※1.2 ※製造所の仕様による 改修用1° ・S3SI ・SI-F2 ※2.0 ※製造所の仕様による 設ける ・S4SI ・SI-F1 ※1.5 ※製造所の仕様による 設けない ・M4SI ・SI-M1 ※1.5 ※製造所の仕様による 設けない ・SI-M2 ※1.5 ・PIS ・S-C1 ※1.0 立上り保護 モルタルの塗厚 ・図示 ・7mm 断熱工法に用いる断熱材(SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合) [3.5.2] 工法 材料 厚さ 機械的固定工法 JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ポリウレタン断熱材2種1号又は2号 ・図示 接着工法 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ポリウレタン断熱材2種1号又は2号 ・図示 S-M2及びSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ 工法: ※図示 ・接着工法(厚さ mm) ・機械固定工法(厚さ mm) [表3.1.1] 立上り部等の防水層撤去 ・行う ・行わない 立上り部等の保護層撤去 ・行う ・行わない POS工法及びPOSI工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)(g)による [3.5.2] 固定金具の材質及び形状 材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ(mm) ※0.4以上 S-M1及びSI-M1の絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シートの材質 [3.5.2] ※発泡ポリエチレンシート 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の仕様による [3.5.3] SI-M1及びSI-M2の防護用フィルムの設置 ※設けない 設ける [表3.5.2] プレキャストコンクリート下地の目地処理(接着工法の場合) [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない S-F1及びSI-F1のプレキャストコンクリート下地の入隅部増張り [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない 一般部ルーフィングシートの張付けで機械的固定工法の場合 建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 防水層の種類 [3.6.3][表3.6.1~表3.6.3] 工法 種別 施工箇所 仕上塗料 種類 使用量 高日射反射率塗料の適用 備考 ・POX ・X-1 ※2成分形7710 ・X-1H 9710樹脂系 ※製造 ・X-2 の仕様による ・X-2H ※ふっ素樹脂系 設けない ・7710シリコン樹脂系 絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様による [3.6.3] ウレタン防水材 ※化学物質MOCAを含有しないもの		
31 撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	① 降雨等に対する養生方法 ※3.1.3(5)による [3.1.3] ② 既存下地の処理 既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ※図示 [3.2.6] 設備機器架台、配管受部、バラベント、貫通パイプ回り、手すり・丸墨の取付け部、塔屋出入口部、防水層末端部等の納まり部の処理 ※図示(図示のない場合は監督職員と協議による) ・製造所の仕様による [3.5.2][表3.5.1~表3.5.2] 工法 種別 施工箇所 厚さ(mm) 種類 使用量 高日射反射率塗料の適用 備考 ・POS ・S4S ・S-F1 ※1.2 ※製造所の仕様による 改修用1° ・S-F2 ※2.0 ※製造所の仕様による 設ける ・S-M1 ※1.5 ※製造所の仕様による 設けない ・S-M2 ※1.5 ・S3S ・S-F1 ※1.2 ※製造所の仕様による 改修用1° ・S-F2 ※2.0 ※製造所の仕様による 設ける ・S-F1 ※1.2 ※製造所の仕様による 設けない ・S-F2 ※2.0 ※製造所の仕様による 設けない ・M4S ・S-M1 ※1.5 ※製造所の仕様による 改修用1° ・S-M2 ※1.5 ※製造所の仕様による 設けない ・POSI ・SI-F1 ※1.2 ※製造所の仕様による 改修用1° ・S3SI ・SI-F2 ※2.0 ※製造所の仕様による 設ける ・S4SI ・SI-F1 ※1.5 ※製造所の仕様による 設けない ・M4SI ・SI-M1 ※1.5 ※製造所の仕様による 設けない ・SI-M2 ※1.5 ・PIS ・S-C1 ※1.0 立上り保護 モルタルの塗厚 ・図示 ・7mm 断熱工法に用いる断熱材(SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合) [3.5.2] 工法 材料 厚さ 機械的固定工法 JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ポリウレタン断熱材2種1号又は2号 ・図示 接着工法 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ポリウレタン断熱材2種1号又は2号 ・図示 S-M2及びSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ 工法: ※図示 ・接着工法(厚さ mm) ・機械固定工法(厚さ mm) [表3.1.1] 立上り部等の防水層撤去 ・行う ・行わない 立上り部等の保護層撤去 ・行う ・行わない POS工法及びPOSI工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)(g)による [3.5.2] 固定金具の材質及び形状 材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ(mm) ※0.4以上 S-M1及びSI-M1の絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シートの材質 [3.5.2] ※発泡ポリエチレンシート 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の仕様による [3.5.3] SI-M1及びSI-M2の防護用フィルムの設置 ※設けない 設ける [表3.5.2] プレキャストコンクリート下地の目地処理(接着工法の場合) [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない S-F1及びSI-F1のプレキャストコンクリート下地の入隅部増張り [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない 一般部ルーフィングシートの張付けで機械的固定工法の場合 建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 防水層の種類 [3.6.3][表3.6.1~表3.6.3] 工法 種別 施工箇所 仕上塗料 種類 使用量 高日射反射率塗料の適用 備考 ・POX ・X-1 ※2成分形7710 ・X-1H 9710樹脂系 ※製造 ・X-2 の仕様による ・X-2H ※ふっ素樹脂系 設けない ・7710シリコン樹脂系 絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様による [3.6.3] ウレタン防水材 ※化学物質MOCAを含有しないもの		
32 不当要求等への対応	暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害(以下この文において「不当介入」という。)の排除については次に従う。 a) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出しなければならない。 b) 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出しなければならない。 c) 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除処理を講じなければならない。 d) 受注者が、不当介入の報告を受けた場合は、「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。	④ 仮設工事(改修)	① 足場その他 内部足場 ※きやつ、足場板等 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※本足場 外部足場の養生 ※図示 ・防護シート ○メッシュシート ・防音シート ・防音パネル 材料、撤去材の運搬方法 ・A種 ※B種 ・C種 ○E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示) ・屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。 ○高さ1.8m以下の範囲は金網養生とし、工事関係者以外が侵入できないように施錠すること。	7 保証書 (シーリング除く) 8 高日射反射率塗料塗り	可とう性エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による。 比重 押出し性(秒) スランプ(Mm) 質量変化率(%) 引張り強さ(MPa) 破断時伸び(%) 引張り接着性 表示値 ±0.10 60以下 3.0以下 5.0以下 低温 1.0以上 低温 30.0以上 最大引張強さ 1.0MPa以上 加熱劣化1.0以上 加熱劣化30.0以上 破断時の伸び 10.0%以上 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 4)試験方法は、JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に準じる。 バテ状エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による。 初期硬化性(MPa) 接着強さ(MPa) 圧縮強さ(MPa) 曲げ強さ(MPa) 硬化収縮率(%) 標準2.0以上 標準6.0以上 50.0以上 30.0以上 3.0以下 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 4)試験方法は、JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に準じる。 エポキシ樹脂モルタル [4.2.4] JIS A 6024による。 だれ 接着強さ(MPa) 圧縮強さ(MPa) 曲げ強さ(MPa) 形状に異常がなく、だれが生じないこと 1.0以上 20.0以上 10.0以上 (3日後の値) 1)こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がり良好であること。 2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3)「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 4)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月間保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目の規定に適合していること。 ポリマーセメントモルタル [4.2.4] 下がり量 表面状態 曲げ強さ(N/mm2) 圧縮強さ(N/mm2) 接着強さ(N/mm2) 5mm以内 ひびわれの発生がないこと 6.0以上 20.0以上 1.0以上 0.8以上 0.5以上 1)透水性 裏面のぬれ、水滴の付着がないこと。 2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3)ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。 ポリマーセメントスラリー [4.3.5] 拡がり速さ(㎝/s) 長さ変化率(収縮)(%) 引張接着性(材齢28日)(N/mm2) 曲げ強度(材齢28日)(N/mm2) 吸水率(72時間)(%) 劣化曲げ強さ(N/mm2) 3以上 3以下 0.49以上 4.9以上 15以下 4.9以上 1)保水係数 0.35~0.55 2)粘調係数 0.50~1.00 3)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 4)ポリマーセメントスラリー用の材料は、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。
33 消防計画	工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事中の部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。	④ 仮設工事(改修)	① 足場その他 内部足場 ※きやつ、足場板等 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※本足場 外部足場の養生 ※図示 ・防護シート ○メッシュシート ・防音シート ・防音パネル 材料、撤去材の運搬方法 ・A種 ※B種 ・C種 ○E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示) ・屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。 ○高さ1.8m以下の範囲は金網養生とし、工事関係者以外が侵入できないように施錠すること。	7 保証書 (シーリング除く) 8 高日射反射率塗料塗り	可とう性エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による。 比重 押出し性(秒) スランプ(Mm) 質量変化率(%) 引張り強さ(MPa) 破断時伸び(%) 引張り接着性 表示値 ±0.10 60以下 3.0以下 5.0以下 低温 1.0以上 低温 30.0以上 最大引張強さ 1.0MPa以上 加熱劣化1.0以上 加熱劣化30.0以上 破断時の伸び 10.0%以上 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 4)試験方法は、JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に準じる。 バテ状エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による。 初期硬化性(MPa) 接着強さ(MPa) 圧縮強さ(MPa) 曲げ強さ(MPa) 硬化収縮率(%) 標準2.0以上 標準6.0以上 50.0以上 30.0以上 3.0以下 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 4)試験方法は、JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に準じる。 エポキシ樹脂モルタル [4.2.4] JIS A 6024による。 だれ 接着強さ(MPa) 圧縮強さ(MPa) 曲げ強さ(MPa) 形状に異常がなく、だれが生じないこと 1.0以上 20.0以上 10.0以上 (3日後の値) 1)こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がり良好であること。 2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3)「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 4)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月間保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目の規定に適合していること。 ポリマーセメントモルタル [4.2.4] 下がり量 表面状態 曲げ強さ(N/mm2) 圧縮強さ(N/mm2) 接着強さ(N/mm2) 5mm以内 ひびわれの発生がないこと 6.0以上 20.0以上 1.0以上 0.8以上 0.5以上 1)透水性 裏面のぬれ、水滴の付着がないこと。 2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3)ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。 ポリマーセメントスラリー [4.3.5] 拡がり速さ(㎝/s) 長さ変化率(収縮)(%) 引張接着性(材齢28日)(N/mm2) 曲げ強度(材齢28日)(N/mm2) 吸水率(72時間)(%) 劣化曲げ強さ(N/mm2) 3以上 3以下 0.49以上 4.9以上 15以下 4.9以上 1)保水係数 0.35~0.55 2)粘調係数 0.50~1.00 3)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 4)ポリマーセメントスラリー用の材料は、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。
34 工事特性等	受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。 また、実施後、工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。	④ 仮設工事(改修)	① 足場その他 内部足場 ※きやつ、足場板等 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※本足場 外部足場の養生 ※図示 ・防護シート ○メッシュシート ・防音シート ・防音パネル 材料、撤去材の運搬方法 ・A種 ※B種 ・C種 ○E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示) ・屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。 ○高さ1.8m以下の範囲は金網養生とし、工事関係者以外が侵入できないように施錠すること。	7 保証書 (シーリング除く) 8 高日射反射率塗料塗り	可とう性エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による。 比重 押出し性(秒) スランプ(Mm) 質量変化率(%) 引張り強さ(MPa) 破断時伸び(%) 引張り接着性 表示値 ±0.10 60以下 3.0以下 5.0以下 低温 1.0以上 低温 30.0以上 最大引張強さ 1.0MPa以上 加熱劣化1.0以上 加熱劣化30.0以上 破断時の伸び 10.0%以上 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 4)試験方法は、JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に準じる。 バテ状エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による。 初期硬化性(MPa) 接着強さ(MPa) 圧縮強さ(MPa) 曲げ強さ(MPa) 硬化収縮率(%) 標準2.0以上 標準6.0以上 50.0以上 30.0以上 3.0以下 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 4)試験方法は、JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に準じる。 エポキシ樹脂モルタル [4.2.4] JIS A 6024による。 だれ 接着強さ(MPa) 圧縮強さ(MPa) 曲げ強さ(MPa) 形状に異常がなく、だれが生じないこと 1.0以上 20.0以上 10.0以上 (3日後の値) 1)こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がり良好であること。 2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3)「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 4)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月間保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目の規定に適合していること。 ポリマーセメントモルタル [4.2.4] 下がり量 表面状態 曲げ強さ(N/mm2) 圧縮強さ(N/mm2) 接着強さ(N/mm2) 5mm以内 ひびわれの発生がないこと 6.0以上 20.0以上 1.0以上 0.8以上 0.5以上 1)透水性 裏面のぬれ、水滴の付着がないこと。 2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3)ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。 ポリマーセメントスラリー [4.3.5] 拡がり速さ(㎝/s) 長さ変化率(収縮)(%) 引張接着性(材齢28日)(N/mm2) 曲げ強度(材齢28日)(N/mm2) 吸水率(72時間)(%) 劣化曲げ強さ(N/mm2) 3以上 3以下 0.49以上 4.9以上 15以下 4.9以上 1)保水係数 0.35~0.55 2)粘調係数 0.50~1.00 3)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 4)ポリマーセメントスラリー用の材料は、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。
35 仮設工事(改修)	① 足場その他 内部足場 ※きやつ、足場板等 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※本足場 外部足場の養生 ※図示 ・防護シート ○メッシュシート ・防音シート ・防音パネル 材料、撤去材の運搬方法 ・A種 ※B種 ・C種 ○E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示) ・屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。 ○高さ1.8m以下の範囲は金網養生とし、工事関係者以外が侵入できないように施錠すること。	④ 仮設工事(改修)	① 足場その他 内部足場 ※きやつ、足場板等 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※本足場 外部足場の養生 ※図示 ・防護シート ○メッシュシート ・防音シート ・防音パネル 材料、撤去材の運搬方法 ・A種 ※B種 ・C種 ○E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示) ・屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。 ○高さ1.8m以下の範囲は金網養生とし、工事関係者以外が侵入できないように施錠すること。	7 保証書 (シーリング除く) 8 高日射反射率塗料塗り	可とう性エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による。 比重 押出し性(秒) スランプ(Mm) 質量変化率(%) 引張り強さ(MPa) 破断時伸び(%) 引張り接着性 表示値 ±0.10 60以下 3.0以下 5.0以下 低温 1.0以上 低温 30.0以上 最大引張強さ 1.0MPa以上 加熱劣化1.0以上 加熱劣化30.0以上 破断時の伸び 10.0%以上 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 4)試験方法は、JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に準じる。 バテ状エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による。 初期硬化性(MPa) 接着強さ(MPa) 圧縮強さ(MPa) 曲げ強さ(MPa) 硬化収縮率(%) 標準2.0以上 標準6.0以上 50.0以上 30.0以上 3.0以下 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 4)試験方法は、JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に準じる。 エポキシ樹脂モルタル [4.2.4] JIS A 6024による。 だれ 接着強さ(MPa) 圧縮強さ(MPa) 曲げ強さ(MPa) 形状に異常がなく、だれが生じないこと 1.0以上 20.0以上 10.0以上 (3日後の値) 1)こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がり良好であること。 2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3)「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 4)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月間保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目の規定に適合していること。 ポリマーセメントモルタル [4.2.4] 下がり量 表面状態 曲げ強さ(N/mm2) 圧縮強さ(N/mm2) 接着強さ(N/mm2) 5mm以内 ひびわれの発生がないこと 6.0以上 20.0以上 1.0以上 0.8以上 0.5以上 1)透水性 裏面のぬれ、水滴の付着がないこと。 2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3)ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。 ポリマーセメントスラリー [4.3.5] 拡がり速さ(㎝/s) 長さ変化率(収縮)(%) 引張接着性(材齢28日)(N/mm2) 曲げ強度(材齢28日)(N/mm2) 吸水率(72時間)(%) 劣化曲げ強さ(N/mm2) 3以上 3以下 0.49以上 4.9以上 15以下 4.9以上 1)保水係数 0.35~0.55 2)粘調係数 0.50~1.00 3)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 4)ポリマーセメントスラリー用の材料は、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。
36 養生	① 既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 [2.3.1] ② 既存家具、既存設備等の養生 ※ビニルシート等 ・既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※図示 ・固定された備品等の移動 ※図示 ③ 開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。	④ 仮設工事(改修)	① 足場その他 内部足場 ※きやつ、足場板等 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※本足場 外部足場の養生 ※図示 ・防護シート ○メッシュシート ・防音シート ・防音パネル 材料、撤去材の運搬方法 ・A種 ※B種 ・C種 ○E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示) ・屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。 ○高さ1.8m以下の範囲は金網養生とし、工事関係者以外が侵入できないように施錠すること。	7 保証書 (シーリング除く) 8 高日射反射率塗料塗り	可とう性エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による。 比重 押出し性(秒) スランプ(Mm) 質量変化率(%) 引張り強さ(MPa) 破断時伸び(%) 引張り接着性 表示値 ±0.10 60以下 3.0以下 5.0以下 低温 1.0以上 低温 30.0以上 最大引張強さ 1.0MPa以上 加熱劣化1.0以上 加熱劣化30.0以上 破断時の伸び 10.0%以上 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 4)試験方法は、JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に準じる。 バテ状エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による。 初期硬化性(MPa) 接着強さ(MPa) 圧縮強さ(MPa) 曲げ強さ(MPa) 硬化収縮率(%) 標準2.0以上 標準6.0以上 50.0以上 30.0以上 3.0以下 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 4)試験方法は、JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に準じる。 エポキシ樹脂モルタル [4.2.4] JIS A 6024による。 だれ 接着強さ(MPa) 圧縮強さ(MPa) 曲げ強さ(MPa) 形状に異常がなく、だれが生じないこと 1.0以上 20.0以上 10.0以上 (3日後の値) 1)こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がり良好であること。 2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3)「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 4)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月間保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目の規定に適合していること。 ポリマーセメントモルタル [4.2.4] 下がり量 表面状態 曲げ強さ(N/mm2) 圧縮強さ(N/mm2) 接着強さ(N/mm2) 5mm以内 ひびわれの発生がないこと 6.0以上 20.0以上 1.0以上 0.8以上 0.5以上 1)透水性 裏面のぬれ、水滴の付着がないこと。 2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3)ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。 ポリマーセメントスラリー [4.3.5] 拡がり速さ(㎝/s) 長さ変化率(収縮)(%) 引張接着性(材齢28日)(N/mm2) 曲げ強度(材齢28日)(N/mm2) 吸水率(72時間)(%) 劣化曲げ強さ(N/mm2) 3以上 3以下 0.49以上 4.9以上 15以下 4.9以上 1)保水係数 0.35~0.55 2)粘調係数 0.50~1.00 3)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 4)ポリマーセメントスラリー用の材料は、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。
37 仮設間仕切り(屋内)	設置箇所 ※図示 [2.3.2][表2.3.1] 間仕切り種別 A種 ・B種 ※C種 A種、B種の場合 仕上げの材質 ※せつこうボード 厚さ9.5mm ・合板(普通合板) 厚さ9.0mm 塗装仕上げ等 ・行う ※行わない 仮設扉設置箇所 ※図示 仮設扉種別 ・合板張り木製扉程度 ・図示	④ 仮設工事(改修)	① 足場その他 内部足場 ※きやつ、足場板等 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※本足場 外部足場の養生 ※図示 ・防護シート ○メッシュシート ・防音シート ・防音パネル 材料、撤去材の運搬方法 ・A種 ※B種 ・C種 ○E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示) ・屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。 ○高さ1.8m以下の範囲は金網養生とし、工事関係者以外が侵入できないように施		

項目	特記事項				
⑤ 塗装の種類	略号	塗装	塗替え	新規	
	・ SOP	合成樹脂調合ペイント塗り 塗料の種類 ※1種	木部(屋外)	※B種	※A種
			木部(屋内)	※B種	※B種
			鉄鋼面	※B種	※B種・A種
			亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具 (亜鉛めっき鋼面))	※A種	※B種
	・ CL	クリヤラッカー塗り	※B種	・A種	※B種・A種
	・ NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	※B種	・A種	※B種・A種
	① DP	耐候性塗料塗り 上塗り塗料等級 ・1級・2級 ①3級	鉄鋼面	表7.8.1	表7.8.1
			重鉛めっき鋼面 コンクリート面及びECP 面	表7.8.2 ・A-2・B-2 ・C-2	表7.8.2 ・A-1・B-1 ・C-1
	・ EP-G	つや有合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	コンクリート面	※B種	※B種・A種
			モルタル面	※B種	※B種・A種
			アクリル面	※B種	※B種・A種
			せつこうボード面	※B種	※B種・A種
			その他ボード面	※B種	※B種・A種
			屋内木部	※B種	※A種・B種
屋内鉄鋼面			※A種	※A種・B種	
・ EP	合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	コンクリート面	※B種	※B種・A種	
		モルタル面	※B種	※B種・A種	
		アクリル面	※B種	※B種・A種	
		せつこうボード面 その他ボード面	※B種	※B種・A種	
・ UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	※B種	※B種	・A種	
・ スティ 塗り	・ ビタメントスチン塗り ・ オイルステイン塗り(OS)		表7.12.1	表7.12.1	
・ WP	木材保護塗料塗り	※B種	※B種	・	
CL A種の場合の塗料の種類 UC 着色 OS 仕様					

環境配慮改修工事			
1 石綿含有建材の除去工事	石綿含有建材の有無及び除去等 [9.1.3~9.1.5]		
飛散性	石綿含有吹付材	使用部位	除去工法 ※9.1.3による
非飛散性	石綿含有保温材		※9.1.3による
	石綿含有成形板等		※9.1.4による
	石綿含有吹付材の飛散防止処置	※ 湿潤化	・ 固形化
	石綿含有仕上塗材の除去	使用部位 () 使用材料 () 除去工法	[9.1.6]
	※厚生労働省「石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル」による工法の内、飛散防止に関し隔離措置と同等と判断できる工法		
	除去範囲	※ 図示	
	試験施工	※ 行わない	・ 行う
	処分	[9.1.3] 管理型・安定型を確認の上、廃棄物処理法による許可を受けた施設で適切に処理すること。	
	石綿粉じん濃度測定	※ 建築物石綿含有建材調査報告書により、監督職員と協議する。 ・ 行う ・ 行わない [9.1.1]	
	測定時期	測定場所	測定名称
	処理作業前	・ 処理作業室内 ・ 施工区画周辺又は敷地境界	測定1 ※2点 測定2 ※2点
	処理作業中	・ 処理作業室内	測定3 ※2点
		※セキュリティゾーン入口 ※集じん、排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	測定4 ※1点 測定5 ※1点
	処理作業後 (隔離シート撤去前)	※ 施工区画周辺又は敷地境界	測定6 ※4方向 各1点
		※ 処理作業室内	測定7 ※2点以上
		・ 施工区画周辺又は敷地境界	測定8 ※4方向 各1点
	測定方法	・ JIS S5850-1に基づいた測定 (測定4・測定5・測定6・測定7) ・ 自動測定器による測定 (測定4・測定5)	





凡例：

- : 工事対象建物を示す
- : 資材設置可能場所を示す。ガードフェンスH=1.8m程度で囲うこと。
- : 工事車両置場を示す (3台程度)
- : 施設利用者出入口、進入経路 ※合板等にて足場及び足場と建物の隙間を三方養生すること。
- : 工事車両出入口、進入経路

合板等
2,200程度
出隅部は養生のこと
1,800程度
足場及び足場と建物の隙間を合板等で三方養生を行い出入口の安全を図る

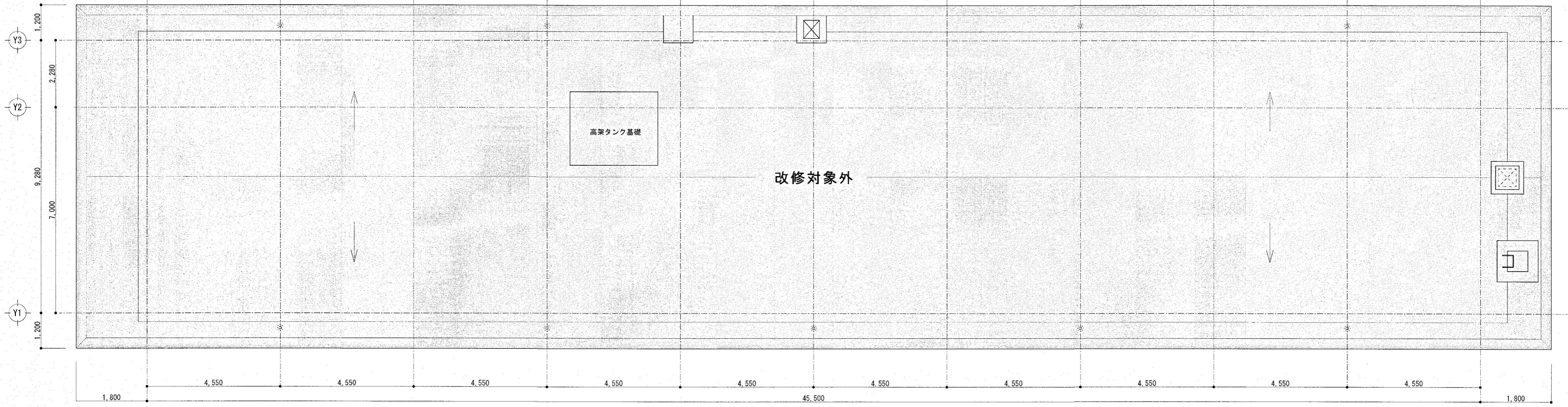
週時程表

	月・火・金	水	木
8:35 ~ 8:45	ぐんぐんタイム	ぐんぐんタイム	朝会・兼会
8:45 ~ 8:55		朝の会	
8:55 ~ 9:40		1校時	
9:45 ~ 10:30		2校時	
10:30 ~ 10:50		長休み	
10:50 ~ 11:35		3校時	
11:40 ~ 12:25		4校時	
12:25 ~ 13:05		給食	
13:05 ~ 13:30		昼休み	
13:30 ~ 13:45		掃除	
13:45 ~ 13:50		移動・トイレタイム	
13:50 ~ 14:00		読書	
14:00 ~ 14:45	5校時	帰りの会	5校時
14:55 ~ 15:40	6校時	職員会 15:30	6校時
15:40 ~ 15:50	帰りの会		帰りの会
15:50 ~ 16:10	Jump up time		終礼

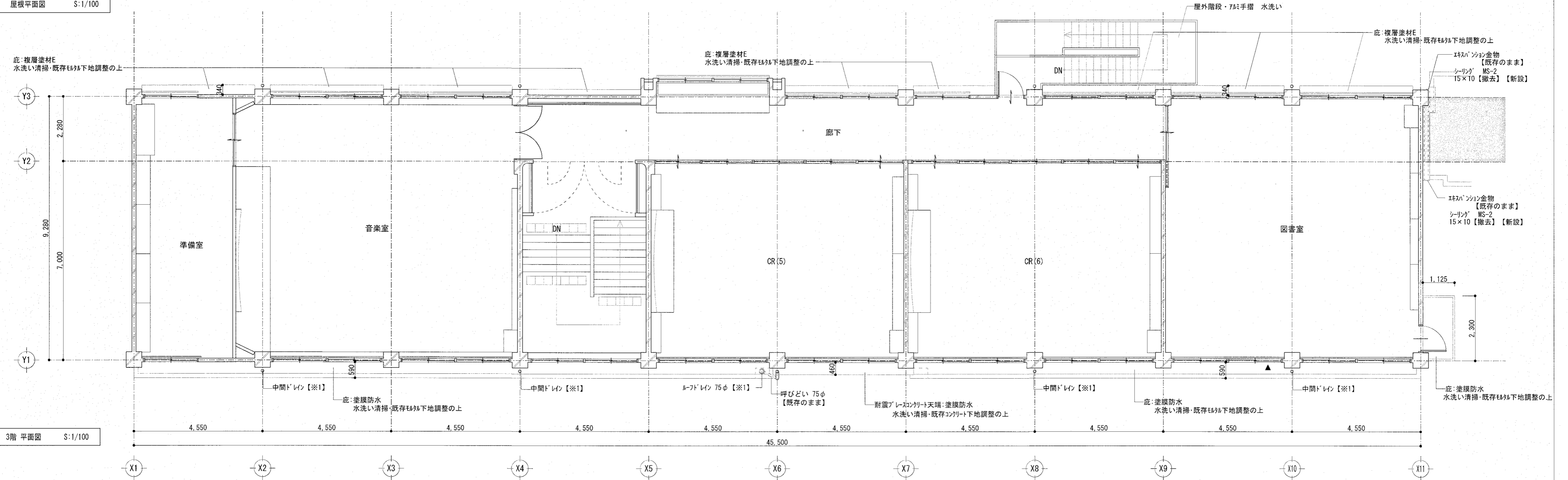
※委員会・クラブ：火または金曜日6校時
 ※居場所 : 15:00~16:45
 下校 16:50

- ※ 施工条件、安全対策等
- ・登下校時間帯(学期中 7:30~8:30、16:10~16:30)は工事関係車両の出入りを禁止とする。
 - ・工事に支障がない範囲で、屋内の換気が行えるように配慮すること。
 - ・躯体の剛孔及びびはつり作業は、授業中の作業を禁止とする。(作業禁止時間は校時表 による。)
 - ・外壁面に設置されている設備(配線・配管・室外機など)は既存のままとし、養生のうえ作業を行うこと。
 - ・防犯カメラ(2ヶ所)、スピーカー(2ヶ所)は、外部足場設置後に足場へ移設を行い、工事完了後元の位置に再設置すること。
 - ・夏季休業期間：令和8年7月18日から8月31日
 - ・現場作業不可日 ※なお、学校行事予定が変更になる等、作業可能となる場合もあるため、事前に施設管理者に確認すること。
 ○6月8日(終日)、6月16日(終日)、6月26日(終日)、7月16日(終日)、7月17日(終日)
 9月1日(終日)、9月11日(終日)

配置図兼仮設計画図 1/300



屋根平面図 S:1/100

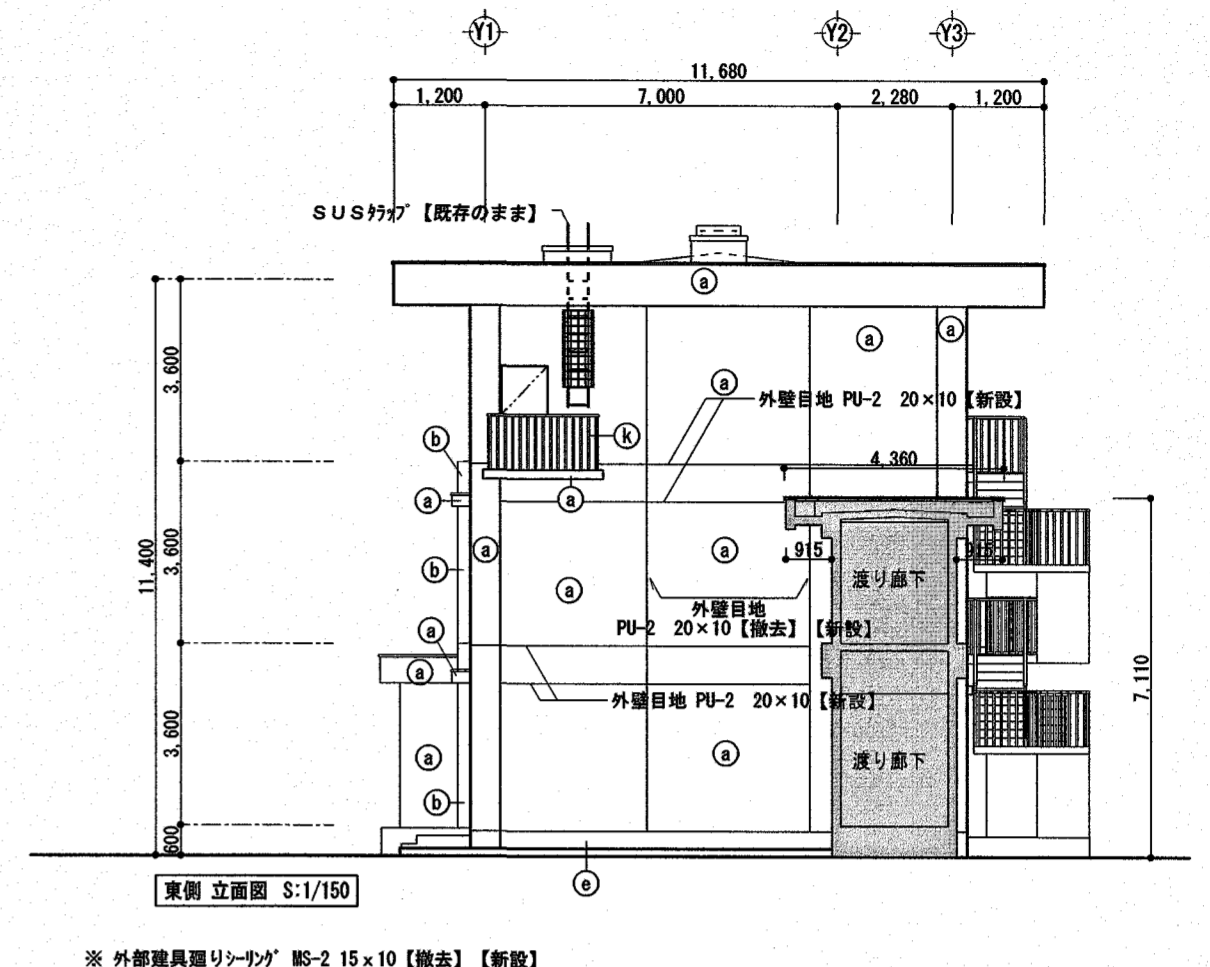
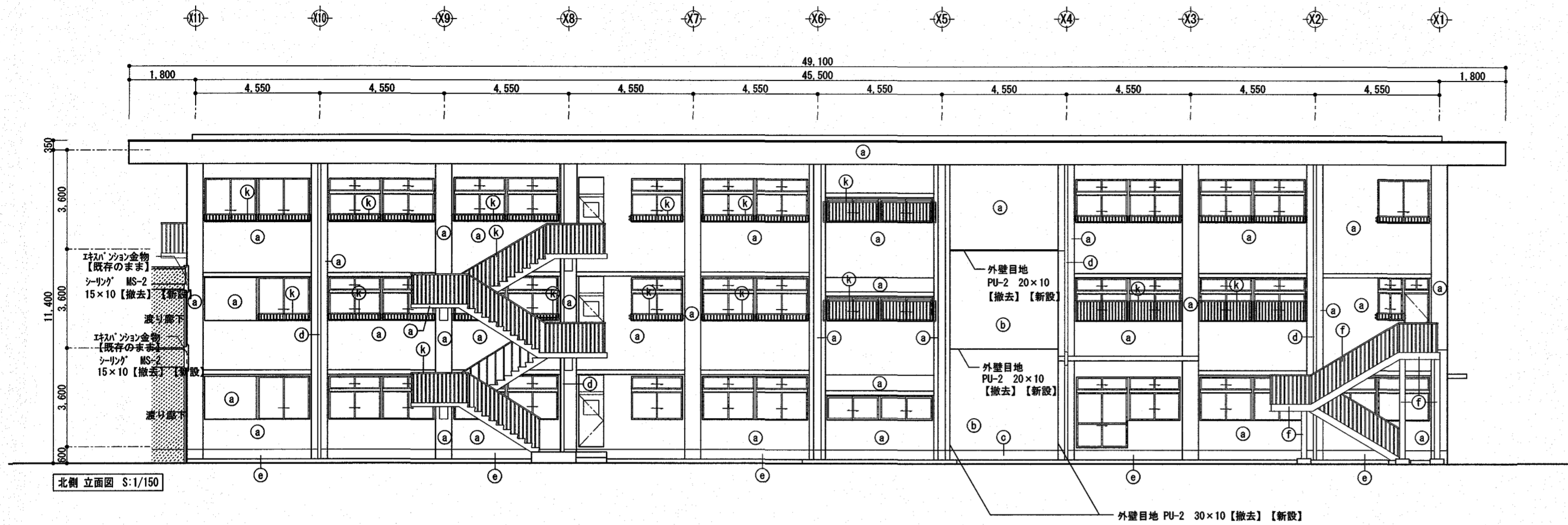


3階平面図 S:1/100

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	浦戸小学校西舎外壁改修工事				係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	3階、屋上平面図	縮尺	1/100	作図	年	月	日	A-7	

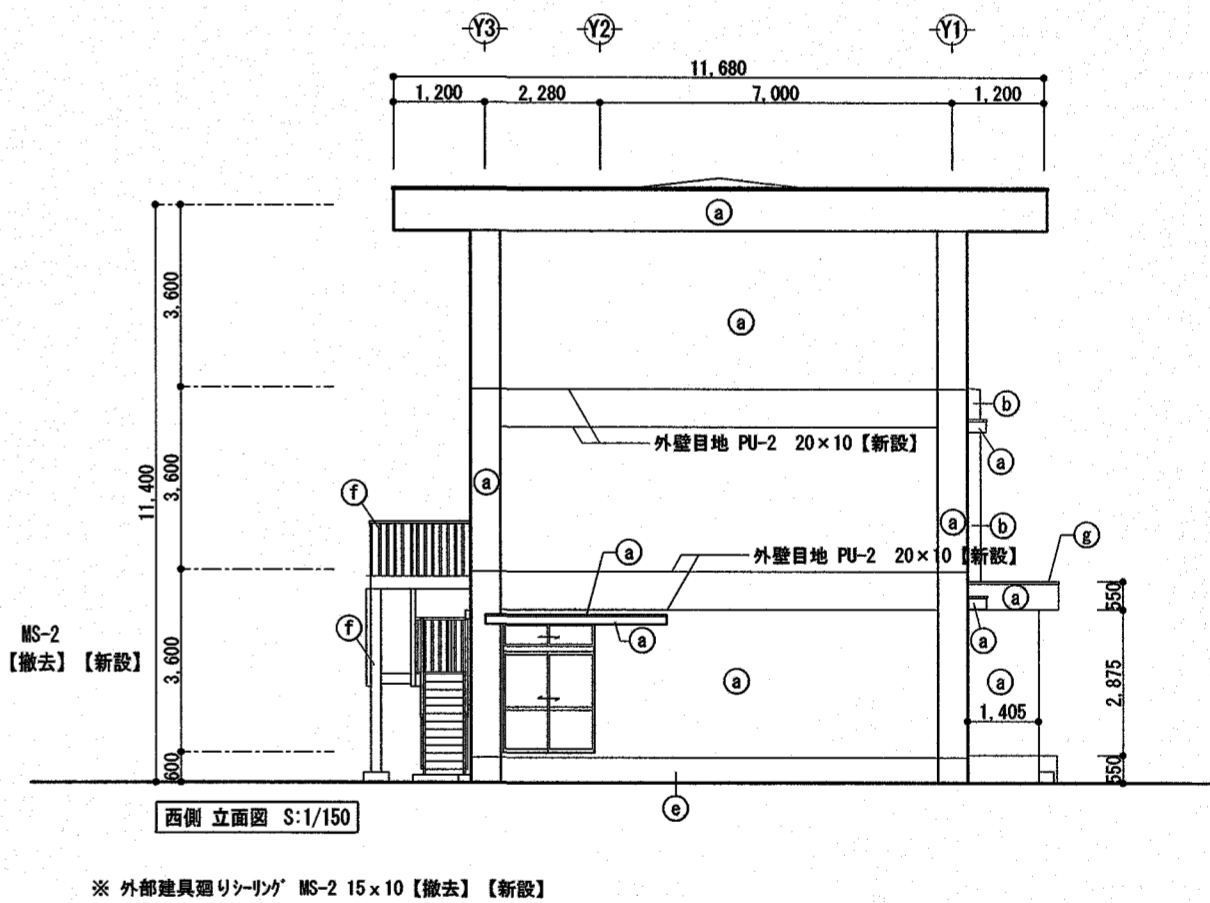
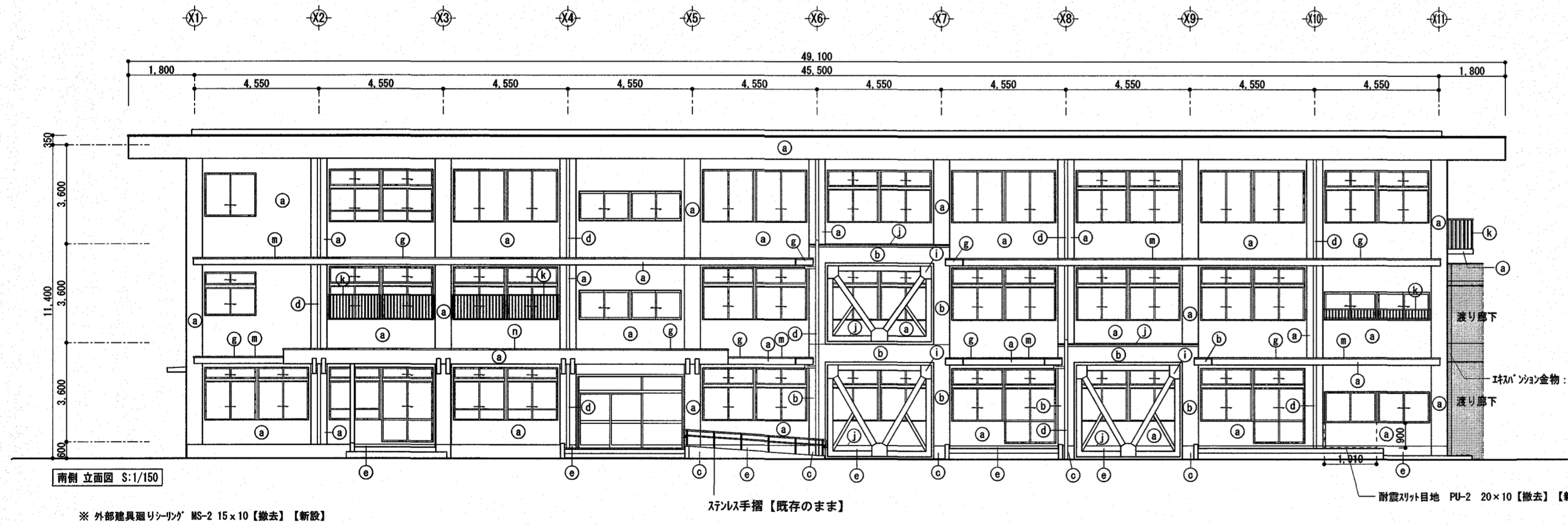
※1 既存ドレン処理 防錆処理 (エポキシ樹脂) 【新設】
 ▶ PU-2 【撤去】 【新設】



※ 外部建具廻りシーリング MS-2 15x10 【撤去】 【新設】

※ 外部建具廻りシーリング MS-2 15x10 【撤去】 【新設】

…改修範囲対象外



※ 外部建具廻りシーリング MS-2 15x10 【撤去】 【新設】

※ 外部建具廻りシーリング MS-2 15x10 【撤去】 【新設】

記号	既存仕上げ	改修仕上げ	記号	既存仕上げ	改修仕上げ
a	モルタル下地、複層塗材E吹付	水洗い工法 下地調整の上、複層塗材E	h	-	-
b	コンクリート打放し、複層塗材E吹付	水洗い工法 下地調整の上、複層塗材E	i	耐震ブレース、DP塗り	既存のまま
c	コンクリート打放し	既存のまま	j	コンクリート直均し金ゴテ、塗膜防水	水洗い工法 塗膜防水 (X-2)
d	たてとい (おV-VP100φ) (スチレス受金物共)	既存のまま	k	7ö手摺	水洗い工法
e	モルタル毛引き	既存のまま	l	コンクリート打放し下地、外装薄塗材E	水洗い工法 外装薄塗材E
f	屋外階段 (鉄鋼面) DP塗り	水洗い工法 下地調整の上、DP塗り	m	-	7ö水切り L-65x45 シーリング MS-2共
g	モルタル毛引き、塗膜防水	水洗い工法 塗膜防水 (X-2)	n	既存防水押え7ö金物 60x40 【撤去】	7ö水切り L-65x45 シーリング MS-2共

【外壁改修仕様：想定数量表】

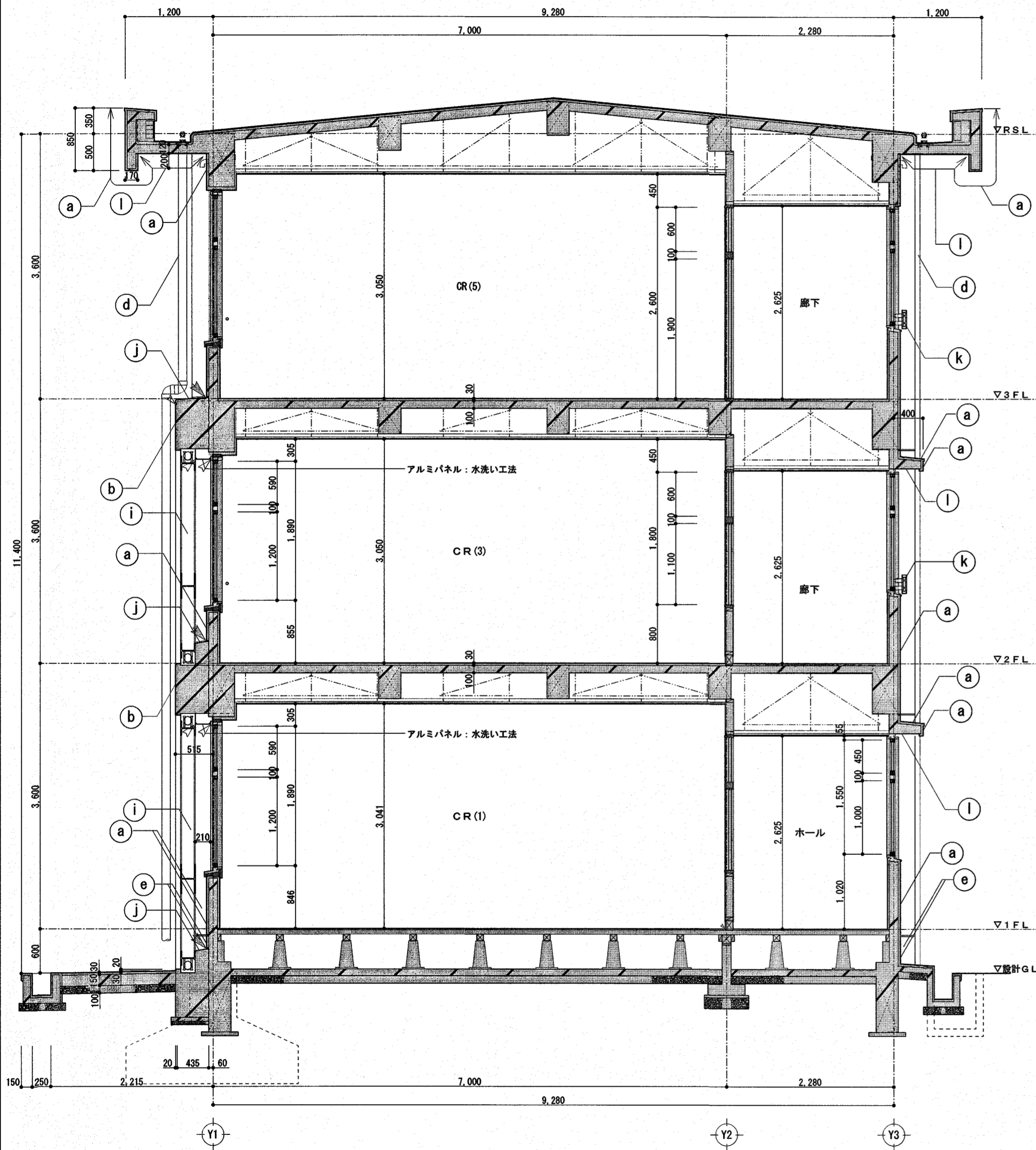
※数量及び工法は想定であり、施工数量調査の結果に応じて変更対象とする。

	損傷状態	工法	数量
コンクリート	ひび割れ (0.2~1.0mm)	自動式低圧モルタル樹脂注入工法	5m
モルタル	ひび割れ (0.2~1.0mm)	自動式低圧モルタル樹脂注入工法	10m
	欠損	モルタル樹脂モルタル充填工法	0.1㎡
	浮き	注入口付きアカーベリコング 全面モルタル樹脂注入工法 一般部分	10㎡

高知市 都市建設部 公共建築課

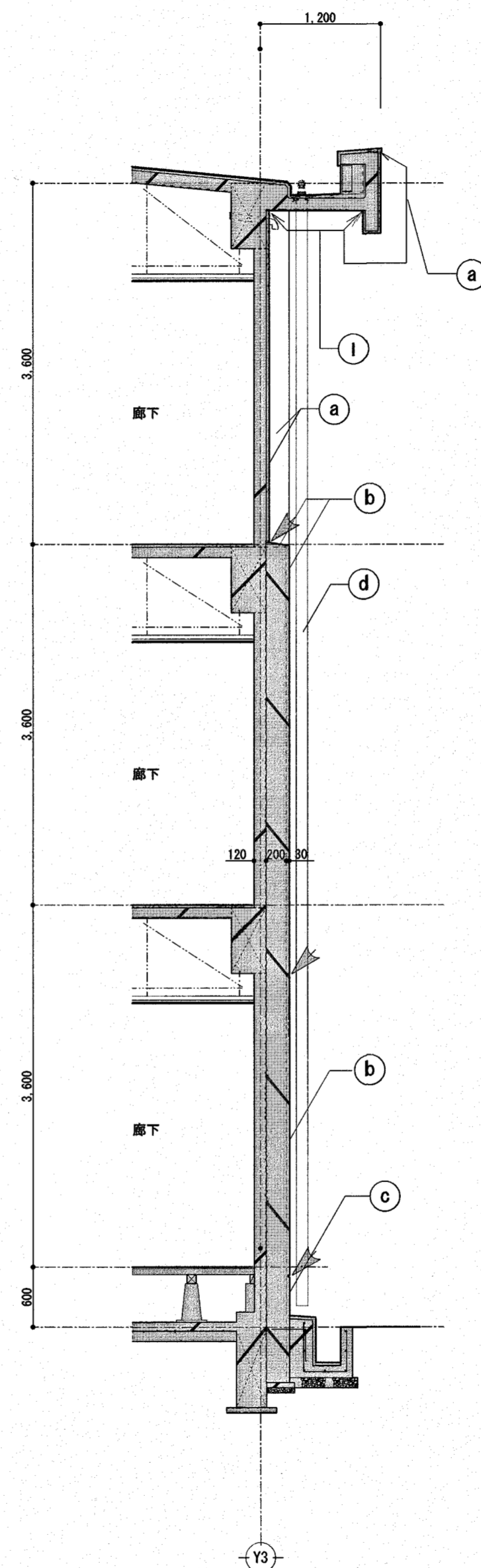
工事名	浦戸小学校西舎外壁改修工事				係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	立面図	縮尺	1/150	作図	年	月	日	A-8

▲ 外壁目地シリング MS-2
 20×10【撤去】【新設】
 ▲ 外壁目地シリング PU-2
 20×10【撤去】【新設】

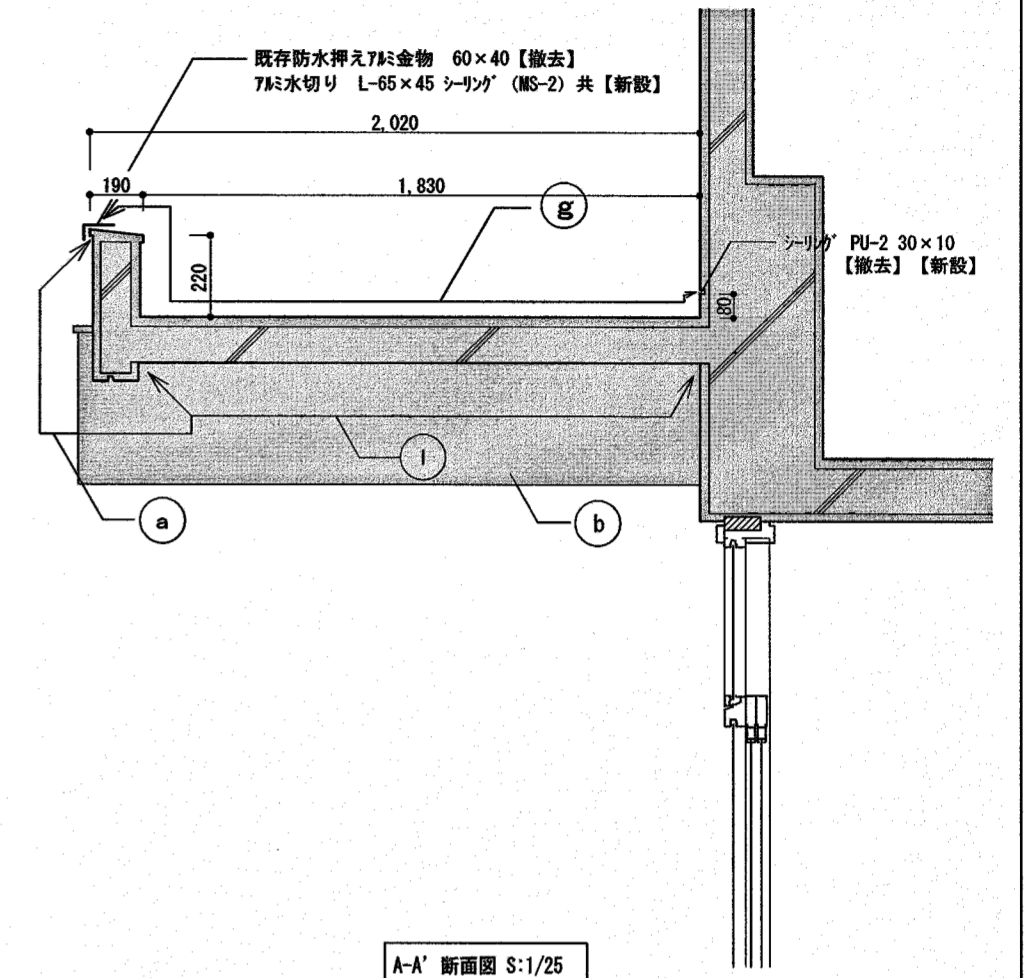


矩計図 S:1/50

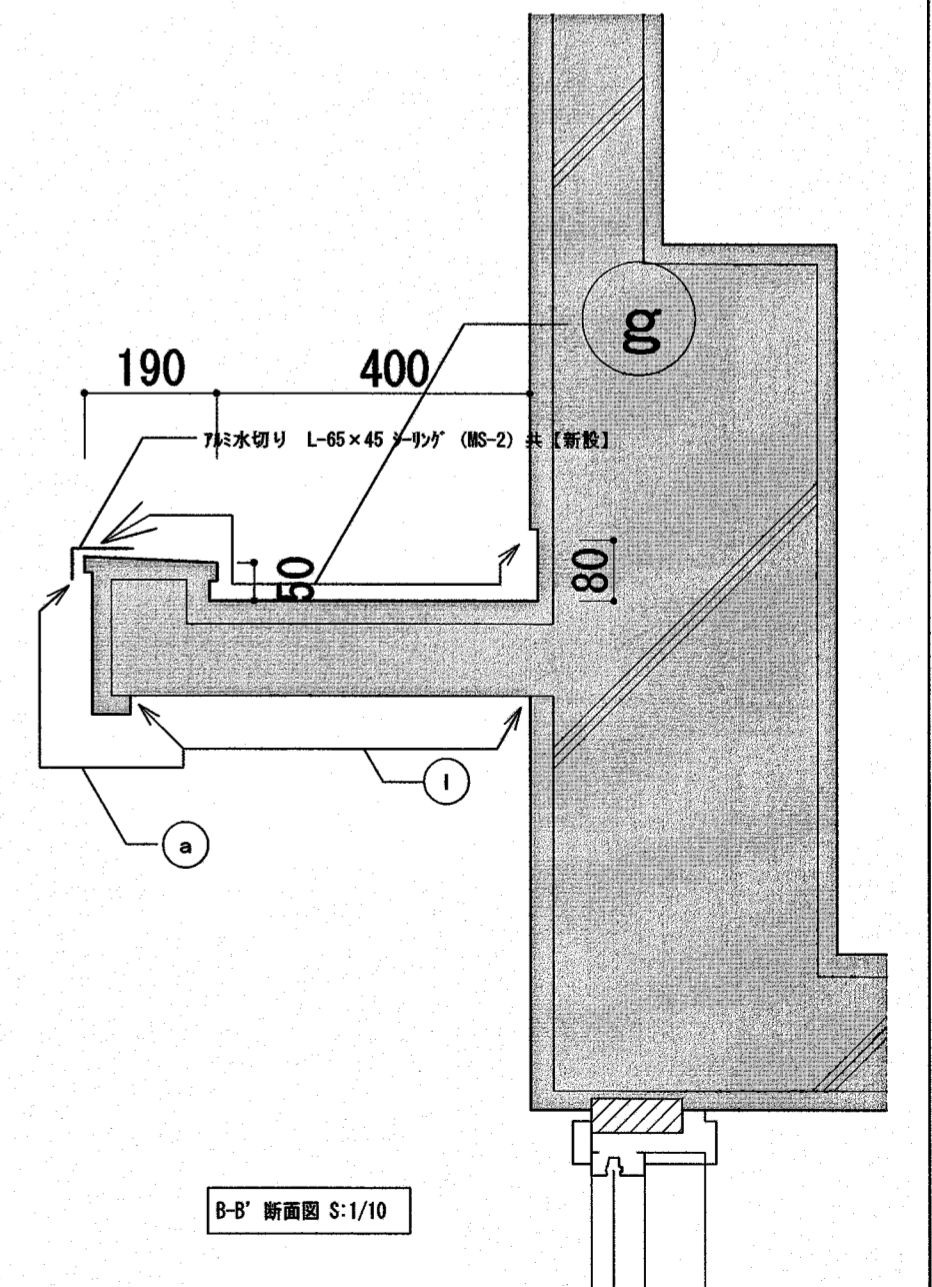
▲ 外壁目地シリング PU-2
 20×10【撤去】【新設】



X4-X5通 断面詳細図 S:1/50



A-A' 断面図 S:1/25







B-B' 断面図 S:1/10

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名

浦戸小学校西舎外壁改修工事

係 係長 課長補佐 課長 図面番号

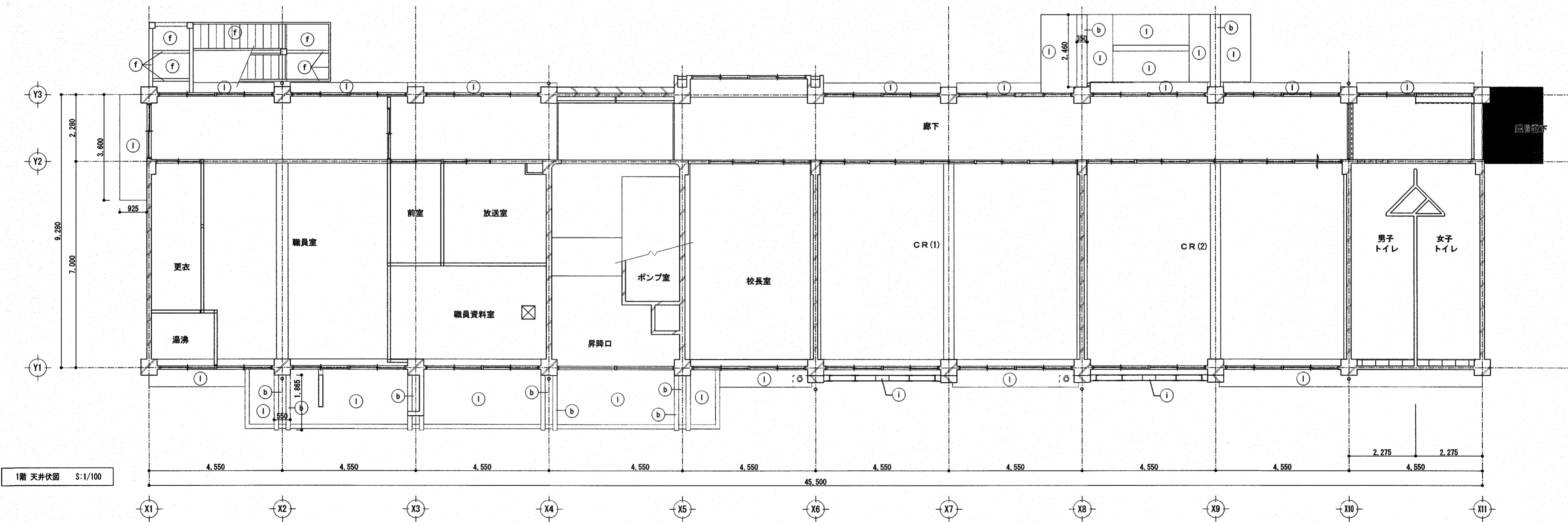




 A-9

図面名 矩計図、各種断面図

縮尺 1/10, 25, 50

作図 年 月 日

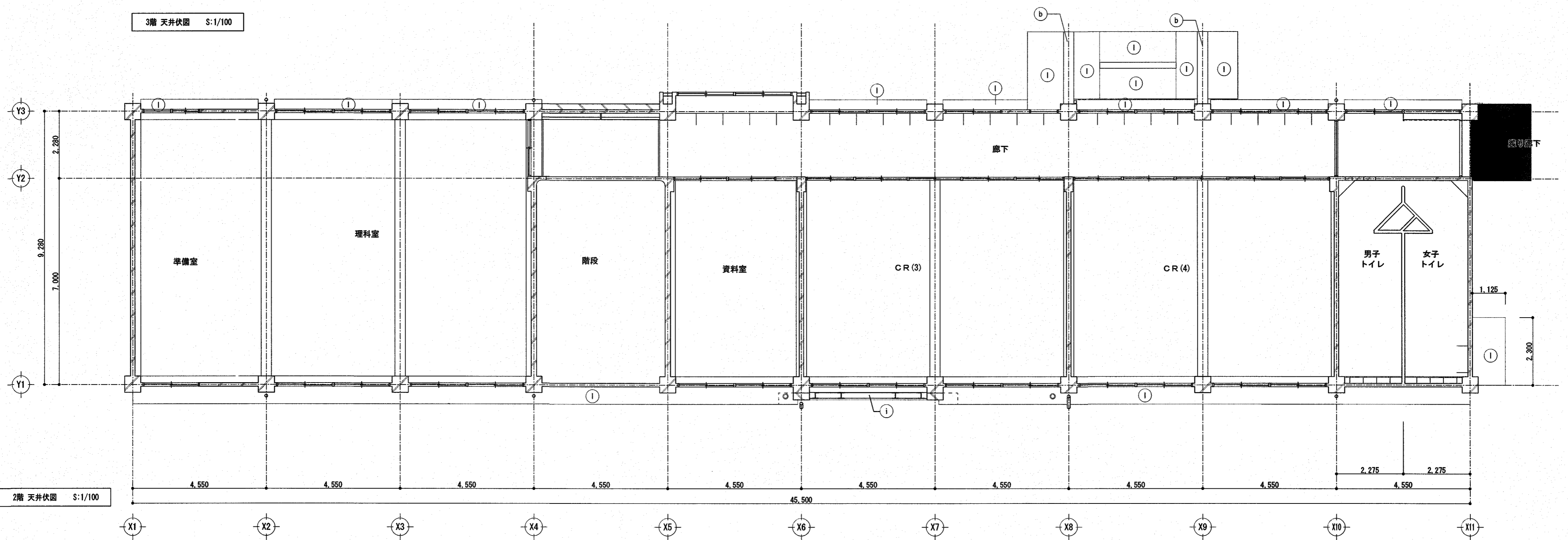
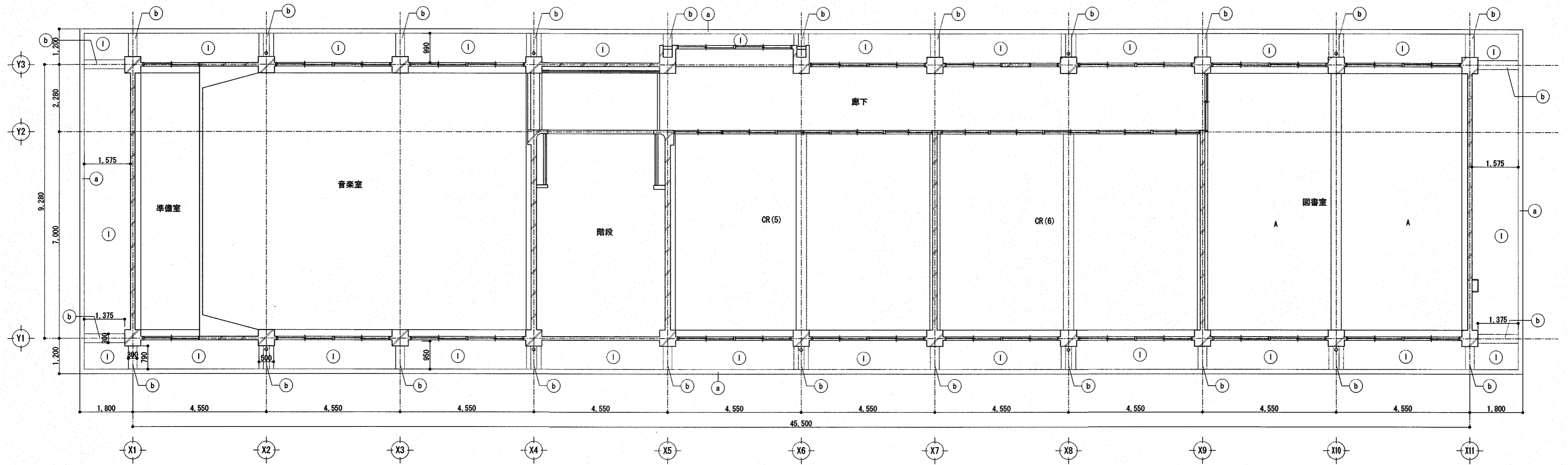
記号	既存仕上	改修仕上
b	コンクリート打放し、複層塗材E吹付	水洗い工法 下地調整の上、複層塗材E
f	屋外階段（鉄網面）DP塗り	水洗い工法 下地調整の上、DP塗り
i	耐震ブレース、DP塗り	既存のまま
l	コンクリート打放し下地、外装薄塗材E	水洗い工法 外装薄塗材E



1階天井伏図 S:1/100

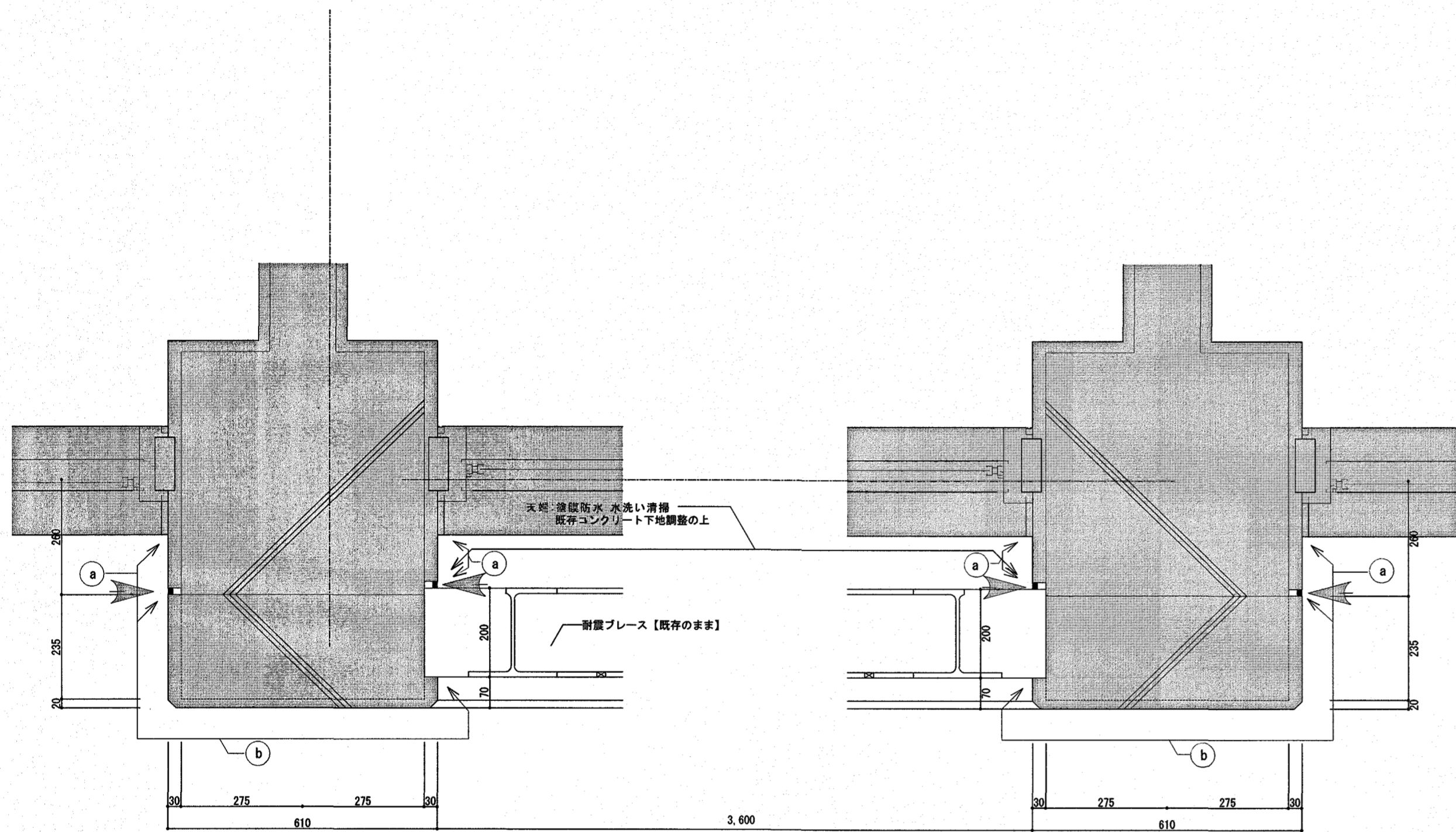
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	浦戸小学校西舎外壁改修工事				係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	1階天井伏図	縮尺	1/100	作図	年	月	日		A-10

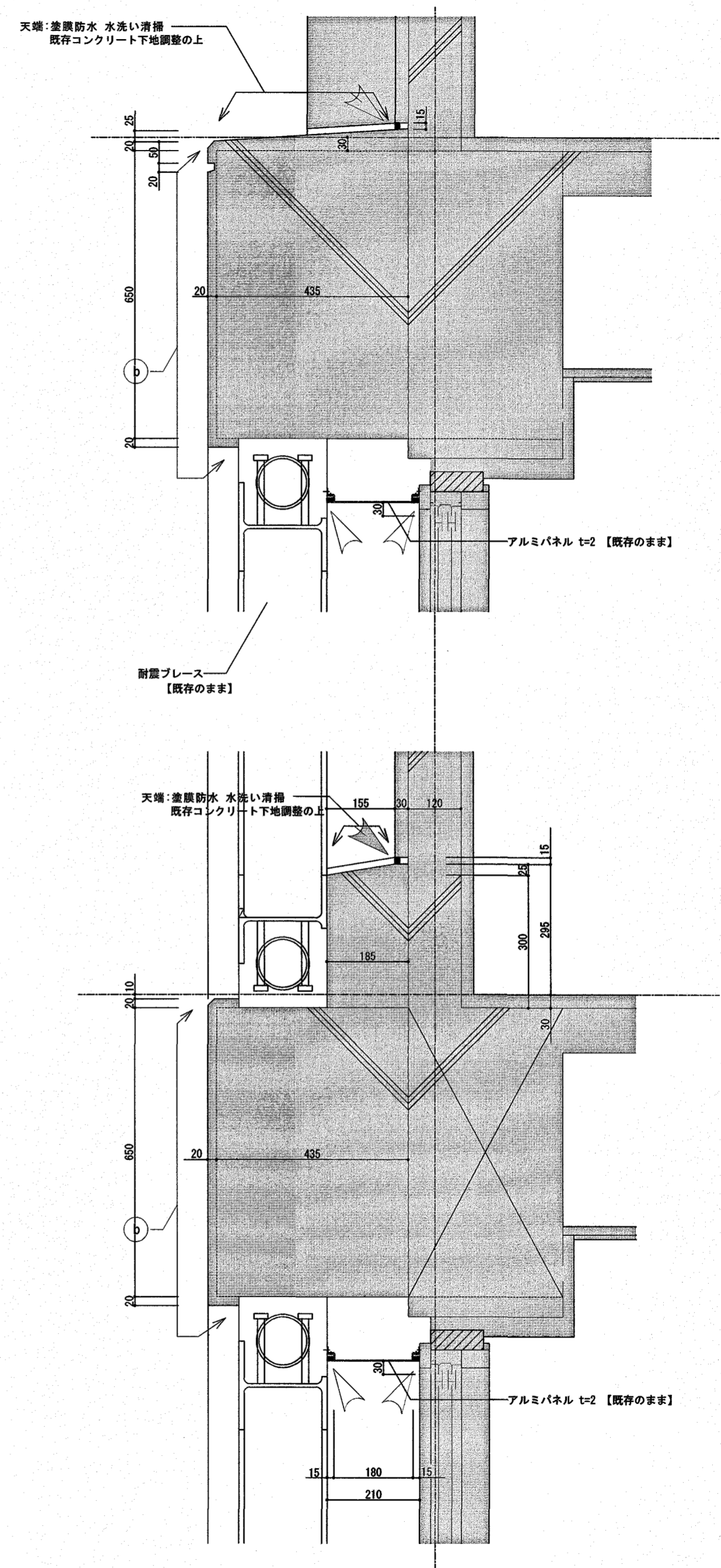


高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	浦戸小学校西舎外壁改修工事				係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	2階、3階天井伏図	縮尺	1/100	作図	年	月	日	A-11	

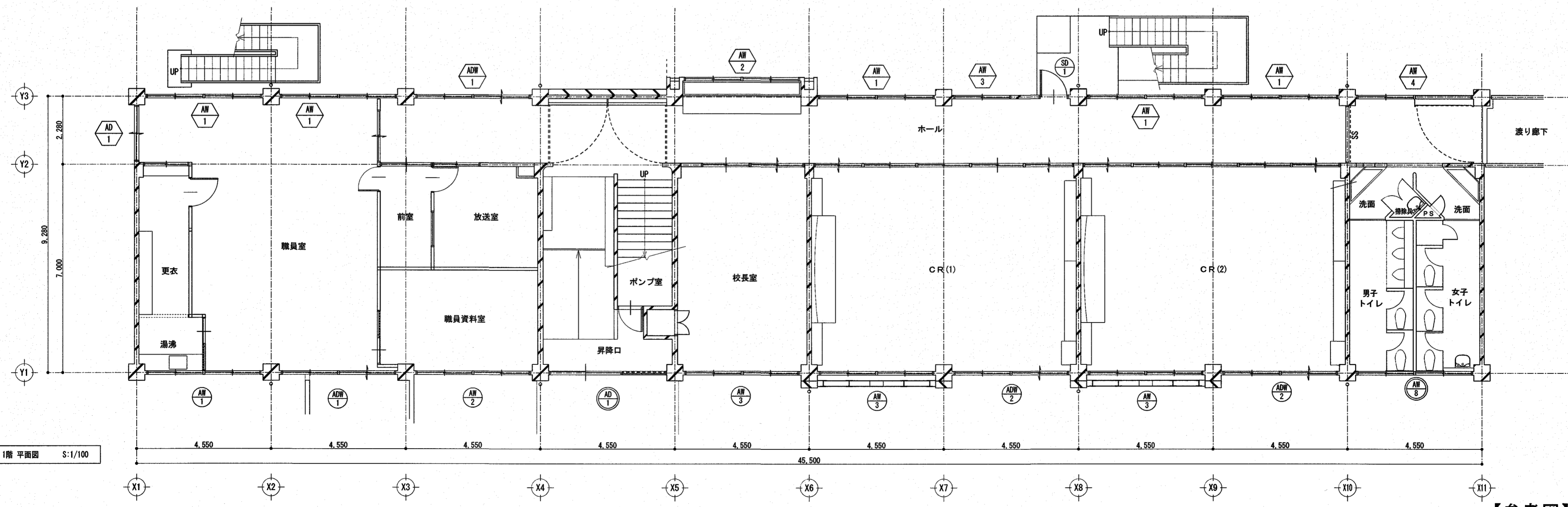
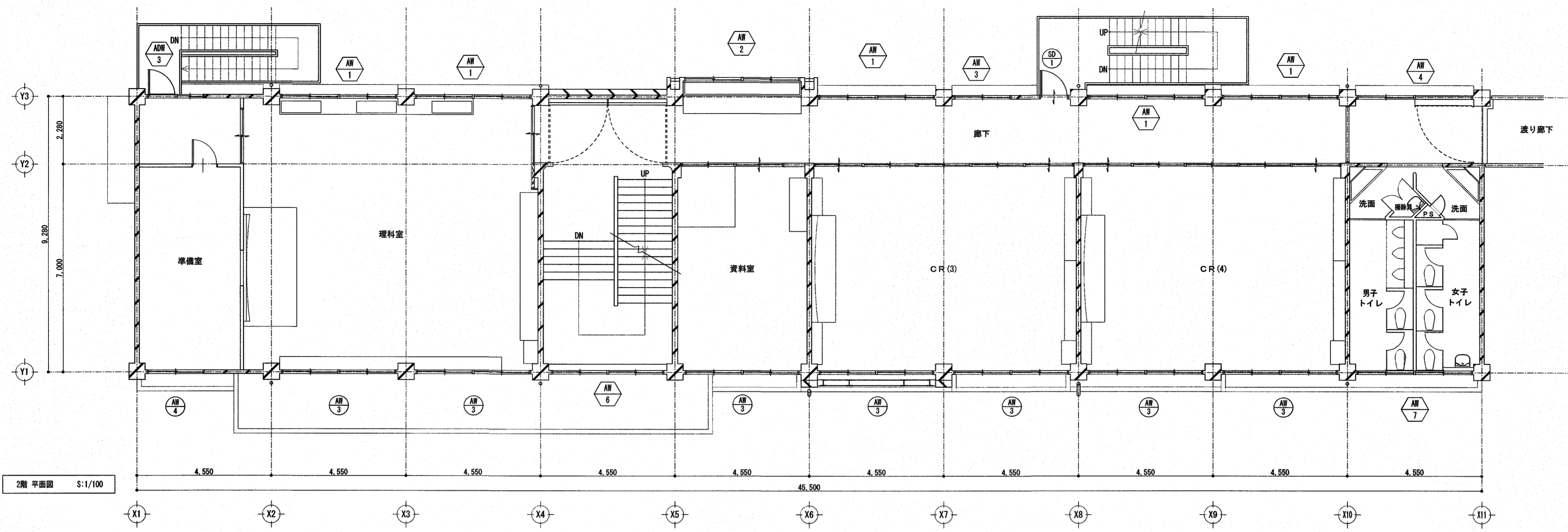


- ▶ ...耐震ブレース部目地 PU-2 20×10【撤去】【新設】
- ▷ ...耐震ブレース部目地 MS-2 20×10【撤去】【新設】



高知市 都市建設部 公共建築課

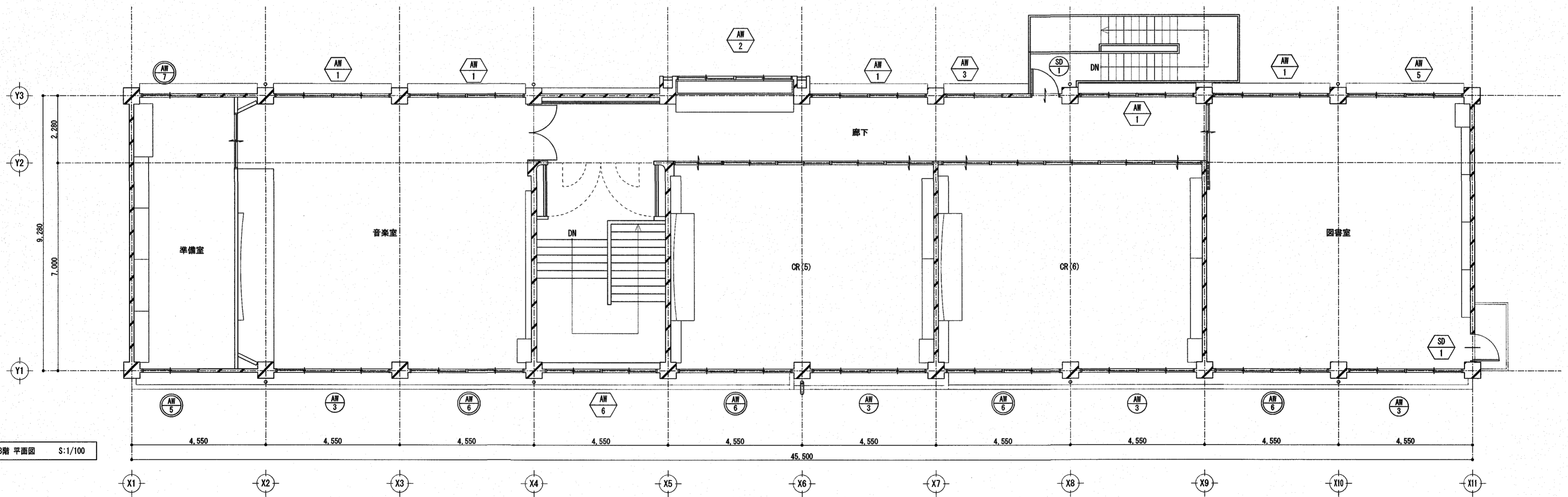
工事名	浦戸小学校西舎外壁改修工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	耐震ブレース廻り詳細図	縮尺	1/10	作図	令和 年 月 日	A-12



【参考図】

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	浦戸小学校西舎外壁改修工事				図面番号
図面名	1階、2階建具配置図【参考図】	縮尺	1/100	作図年	月 日
係長	課長補佐	課長			
					A-13



【参考図】

高知市 都市建設部 公共建築課		工事名		係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		浦戸小学校西舎外壁改修工事						A-14
図面名		3階建具配置図【参考図】		縮尺	1/100		作図	年 月 日

符号・産名・数量	ADW 1 1階職員室	1 F	1	T12	T13	1	1	ADW 2 1階CR(1),(2)	1 F	2	T12	T13	1	2	AD 1階昇降口	※ 新設建具	1 F	1	2 F	T13	合計	1		
窓 図																								
材種・型式・見込	アルミ欄間付引き違い窓・引き違い戸 学校用強化ガラス t=4.0(欄間共) 腰アルミパネル(AP)	見込み:70						アルミ欄間付引き違い窓・引き違い戸 学校用強化ガラス t=4.0(欄間共) 腰アルミパネル(AP)	見込み:70						アルミ製嵌め殺し戸+ハンガー引き込み戸(フロントサッシ) ガラス:学校用強化ガラス t=5.0, t=4.0 ガラス押エ:シーリング 内外共 枠廻りシーリング	見込み:70 + 70								
符号・産名・数量	AW 1 1階職員室	1 F	1	T12	T13	1	1	AW 2 1階職員資料室	1 F	1	T12	T13	1	1	AW 3 1階校長室~3階図書室	1 F	3	2 F	7	3 F	4	合計	14	
AW 4 2階理科準備室	1 F		T12			1	3 F	合計	1															
窓 図																								
材種・型式・見込	アルミ欄間付2連引き違い窓 学校用強化ガラス t=4.0(欄間共) ガラス押エ:シーリング	見込み:70						アルミ欄間付2連引き違い窓 学校用強化ガラス t=4.0(欄間共) ガラス押エ:シーリング	見込み:70					アルミ欄間付2連引き違い窓 学校用強化ガラス t=4.0 ガラス押エ:シーリング	見込み:70							アルミ欄間付引き違い窓 学校用強化ガラス t=4.0(欄間共) ガラス押エ:シーリング	見込み:70	
符号・産名・数量	AW 5 3階音楽準備室	1 F		T12	T13	1	合計	1	AW 6 3階音楽室, CR(5)(6), 図書室	1 F		T12	T13	4	合計	4	AW 7 3階音楽準備室	1 F		2 F	3 F	1	合計	1
AW 8 1階便所	1 F	1	T12	T13	合計	1																		
窓 図																								
材種・型式・見込	アルミ製引き違い窓 ガラス:学校用強化ガラス t=4.0 ガラス押エ:シーリング	見込み:70						アルミ製2連引き違い窓 ガラス:学校用強化ガラス t=4.0 ガラス押エ:シーリング	見込み:70					アルミ製引き違い窓 ガラス:学校用強化ガラス t=4.0 ガラス押エ:シーリング	見込み:70							アルミ製2連引き違い窓 ガラス:学校用強化型ガラス t=4.0 ガラス押エ:シーリング	見込み:70	

【参考図】

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	浦戸小学校西舎外壁改修工事			
係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	建具表1【参考図】	縮尺	1/50	作図 年 月 日
				A-15

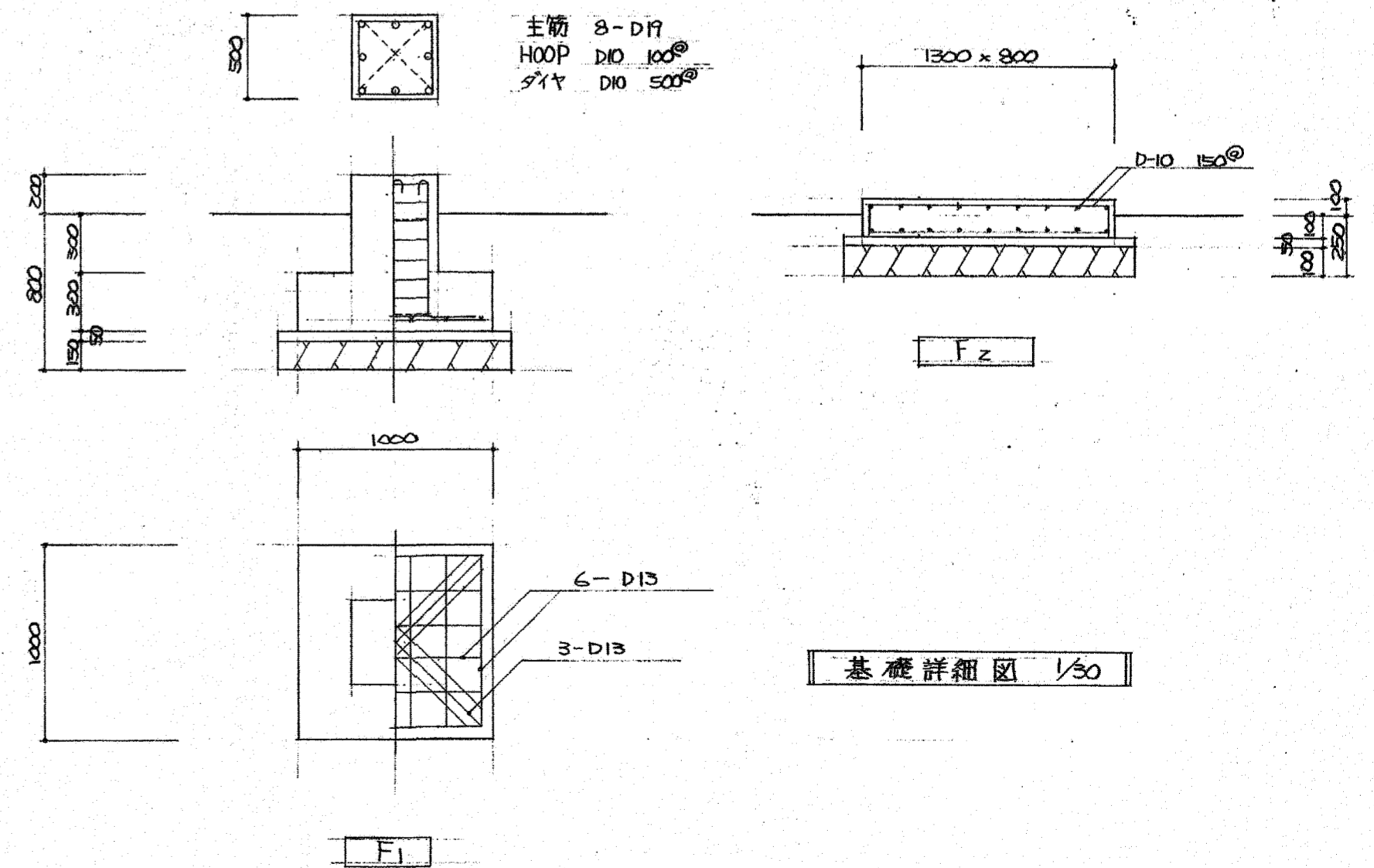
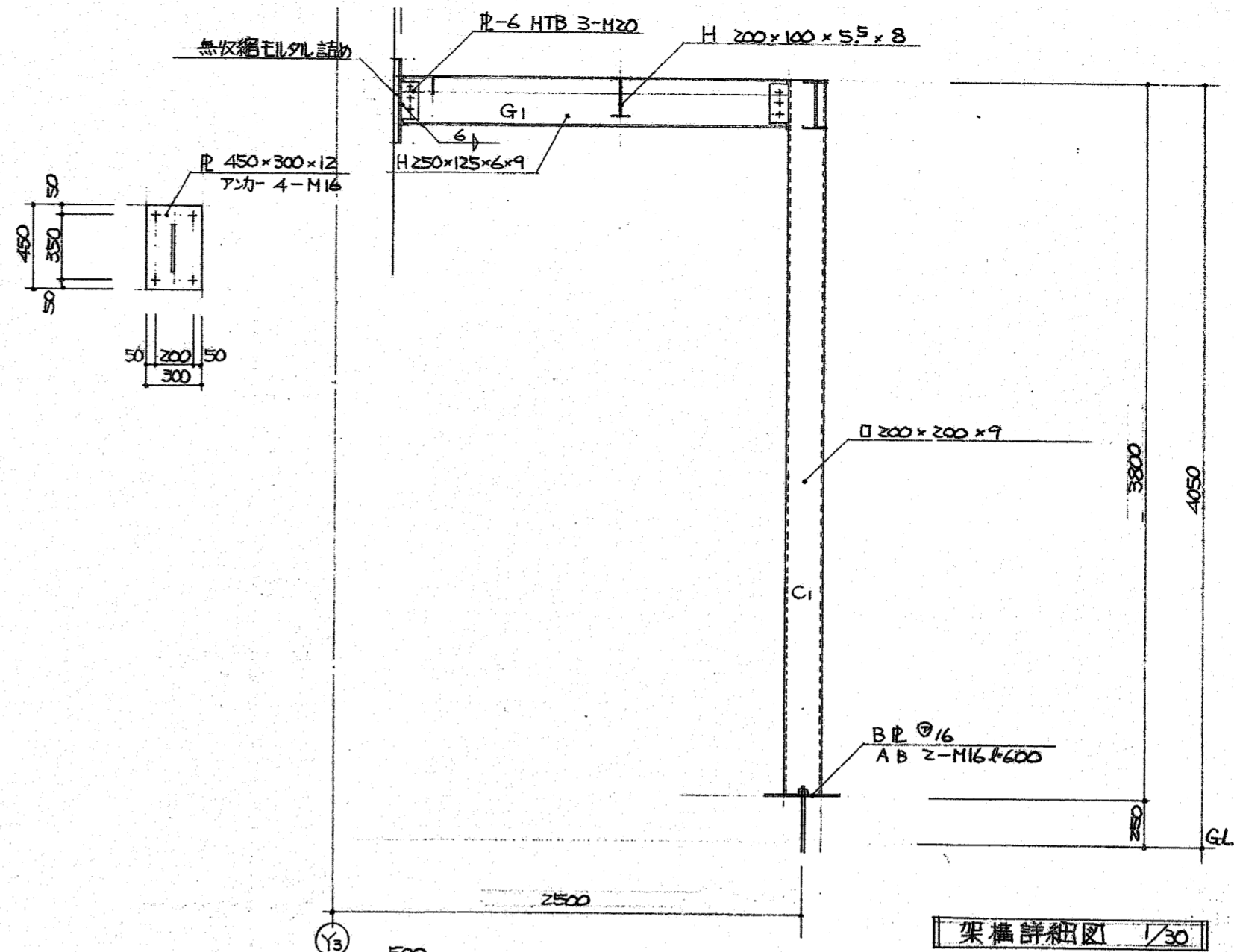
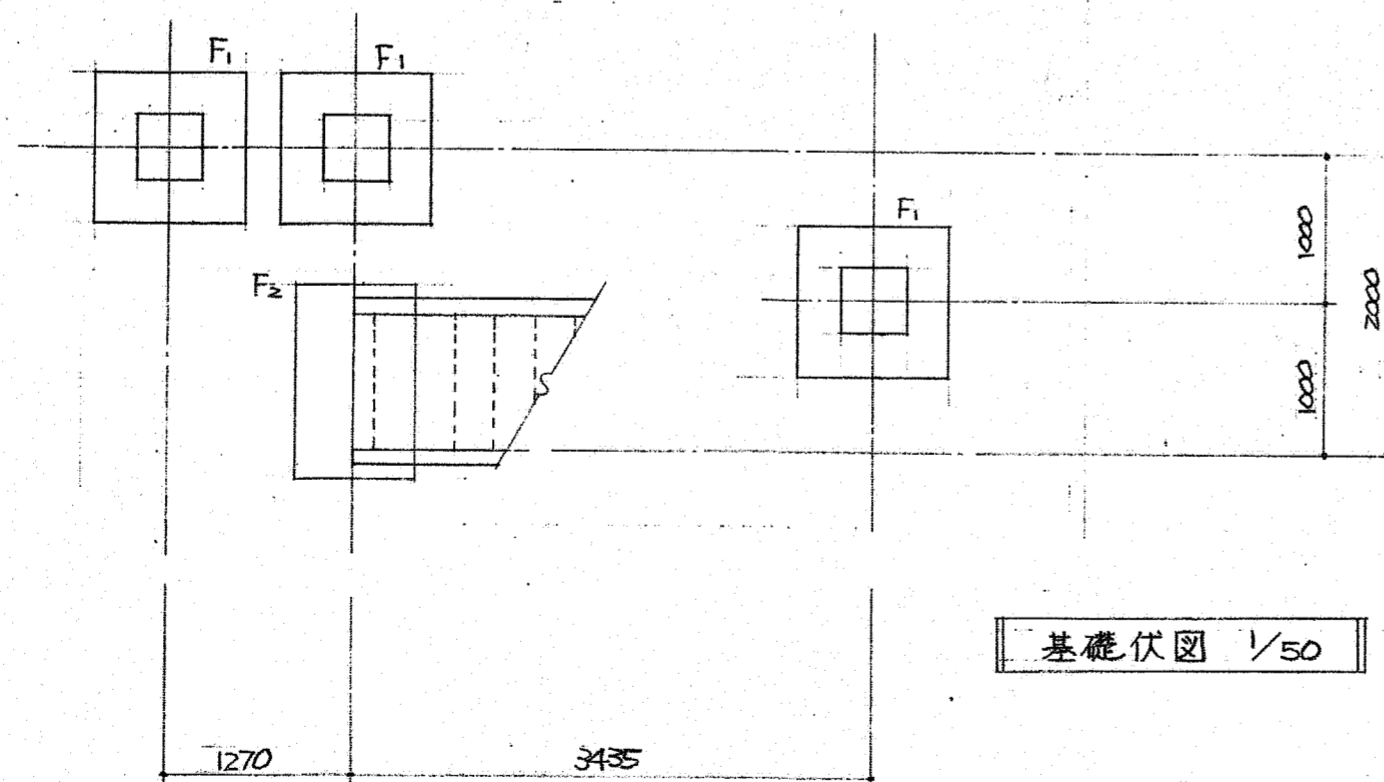
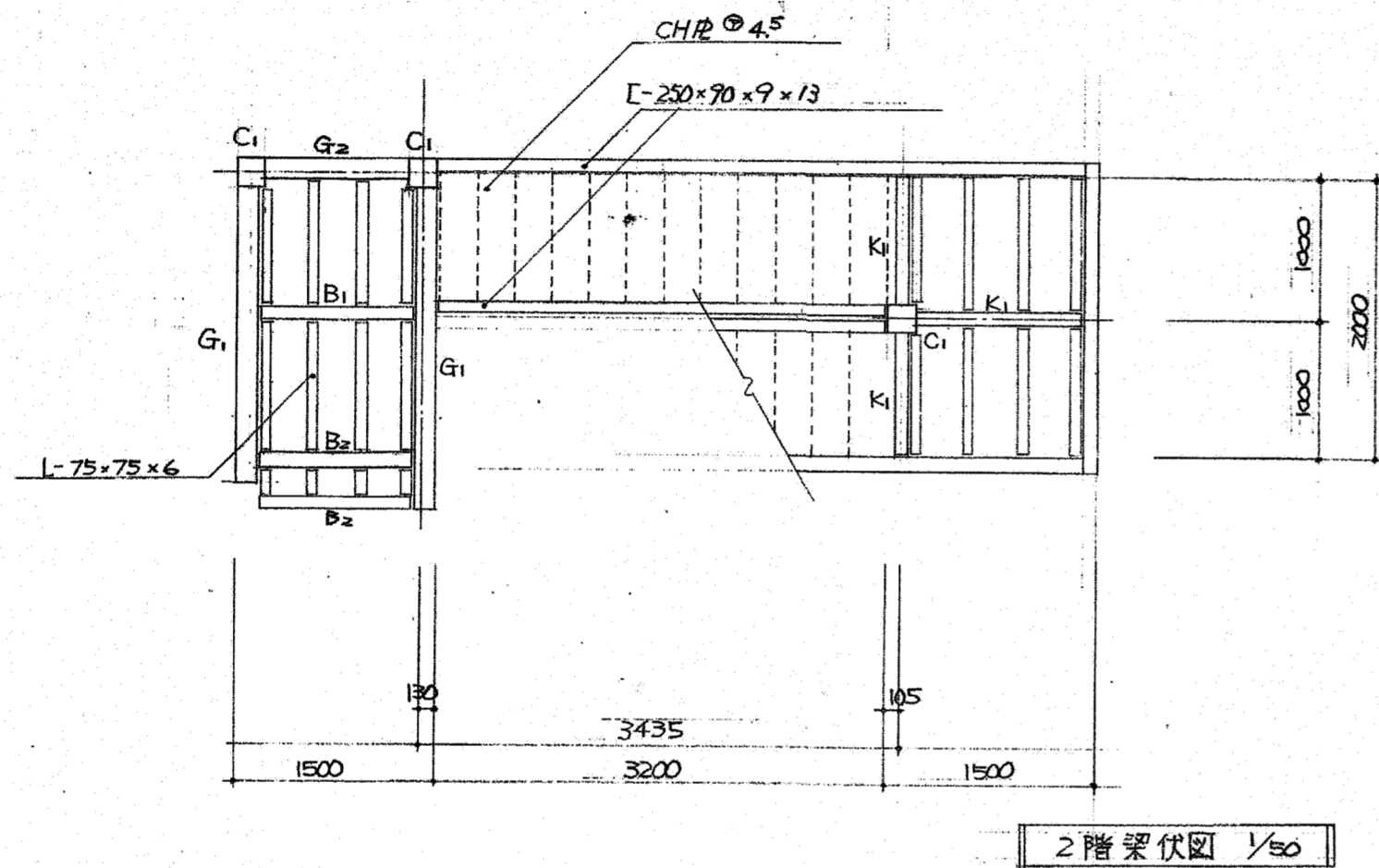
符号・室名・数量	AD 1 1階職員室	1F	1	2F	3F	合計	1	ADW 1 1階廊下	1F	1	2F	3F	合計	1	SD 1 1階～3階廊下	1F	1	2F	3F	合計	3	ADW 3 2階 理科準備室 前室	1F	2F	3F	合計	1									
窓 図																																				
材種・型式・見込	アルミ製欄間付引き違い戸 見込:70							アルミ製欄間付引き違い戸・引き違い窓 見込:70							スチール製欄間付片開きフラッシュ戸 見込み 枠:100 扉:40							アルミ製欄間付片開き戸・引き違い窓 見込:70														
改 修 内 容	既存のまま							既存のまま							既存のまま							既存のまま														
符号・室名・数量	AW 1 1階職員室～3階図書室	1F	5	2F	5	3F	5	合計	15	AW 2 各階廊下 手洗い	1F	1	2F	1	3F	1	合計	3	AW 3 各階廊下	1F	1	2F	1	3F	1	合計	3	AW 4 1,2階廊下	1F	1	2F	1	3F	合計	2	
窓 図																																				
材種・型式・見込	アルミ製欄間付2連引き違い窓 見込:70							アルミ製2連引き違い窓 見込:70							アルミ製欄間付引き違い窓 見込:70							アルミ製引き違い窓 見込:70														
改 修 内 容	既存のまま							既存のまま							既存のまま							既存のまま														
符号・室名・数量	AW 5 3階図書室	1F		2F		3F	1	合計	1	AW 6 階段室	1F		2F	1	3F	1	合計	2	AW 7 2階便所	1F		2F	1	3F		合計	1	SD 1 3階図書室	1F		2F		3F	1	合計	1
窓 図																																				
材種・型式・見込	アルミ製2連引き違い窓 見込:70							アルミ製2連引き違い窓 見込:70							アルミ製2連引き違い窓 見込:70							スチール製片開き戸 見込:100														
改 修 内 容	既存のまま							既存のまま							既存のまま							既存のまま														

【参考図】

高知市 都市建設部 公共建築課

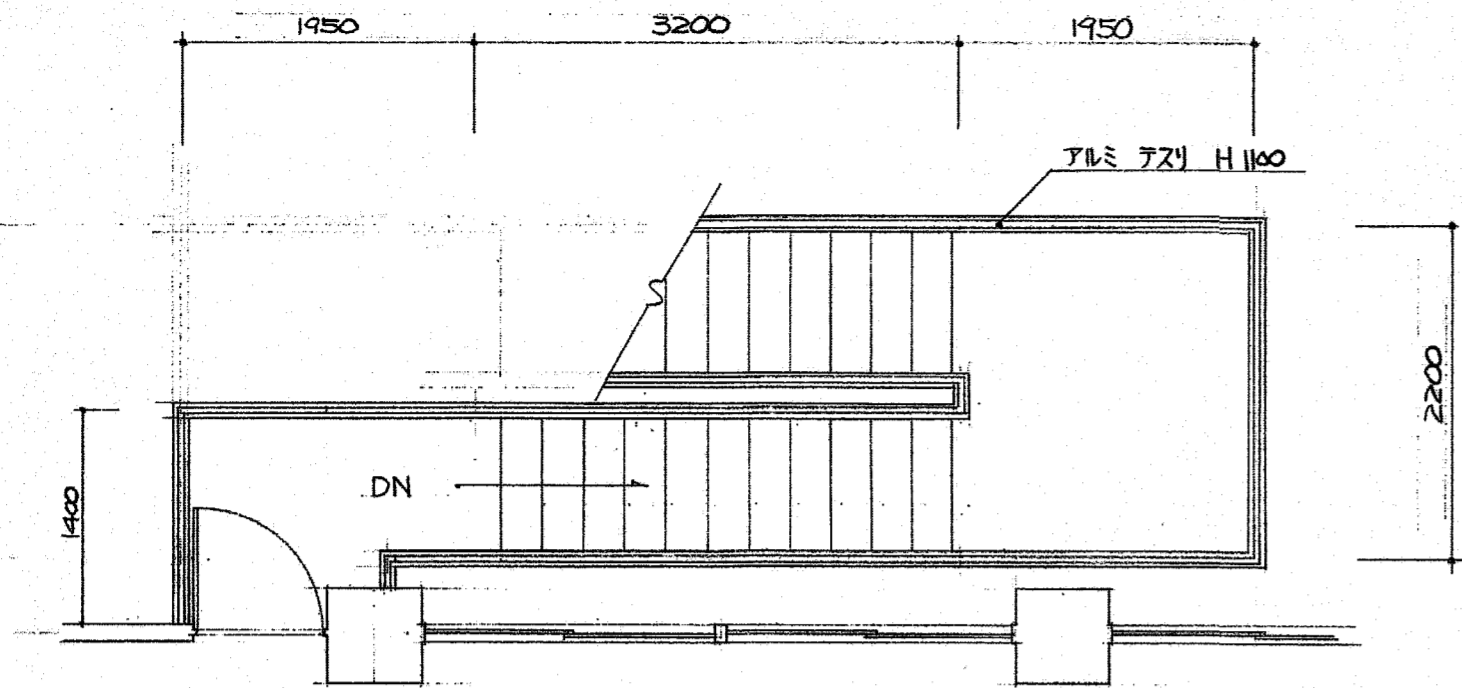
工事名	浦戸小学校西舎外壁改修工事			係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	建具表2【参考図】	縮尺	1/50	作図	年	月	日

部材表	
C1	□ 200×200×9
G1.2	H 250×125×6×9
B1	H 200×100×5.5×8
Bz	L 90×90×7
K1	H 200×100×5.5×8

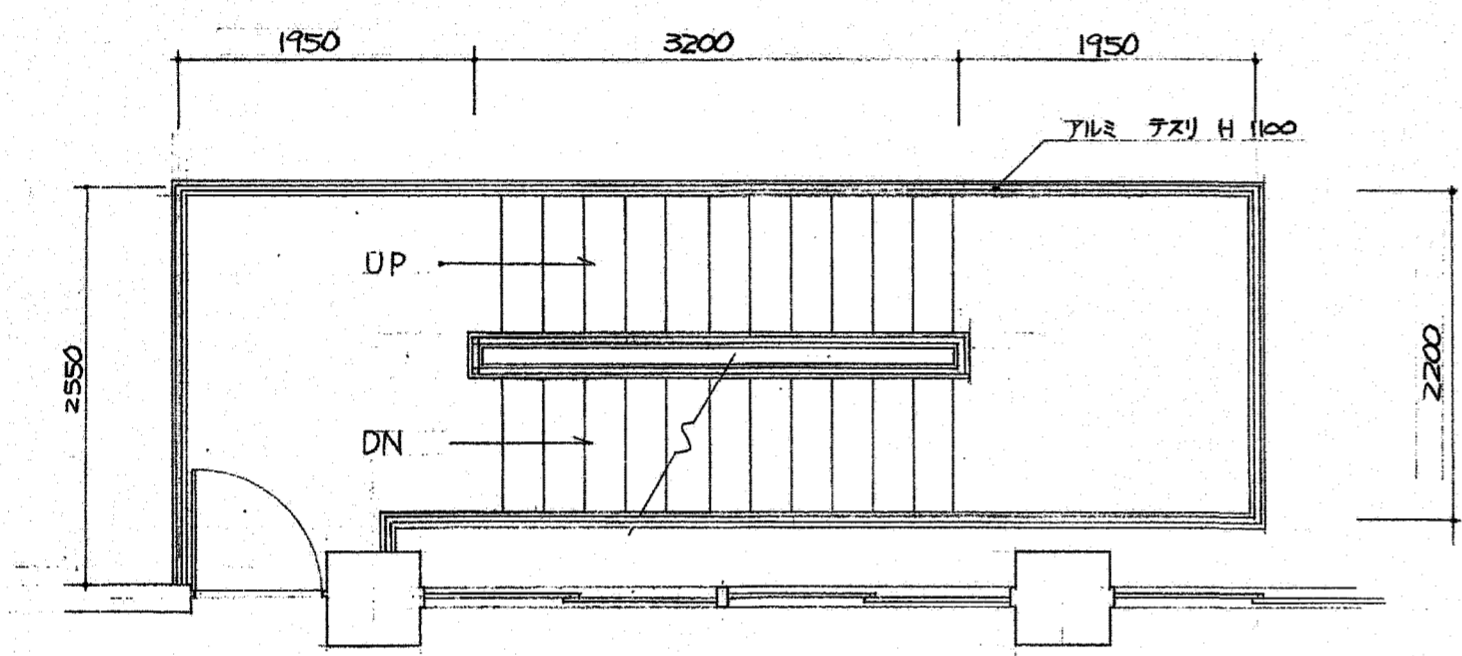


【参考図】

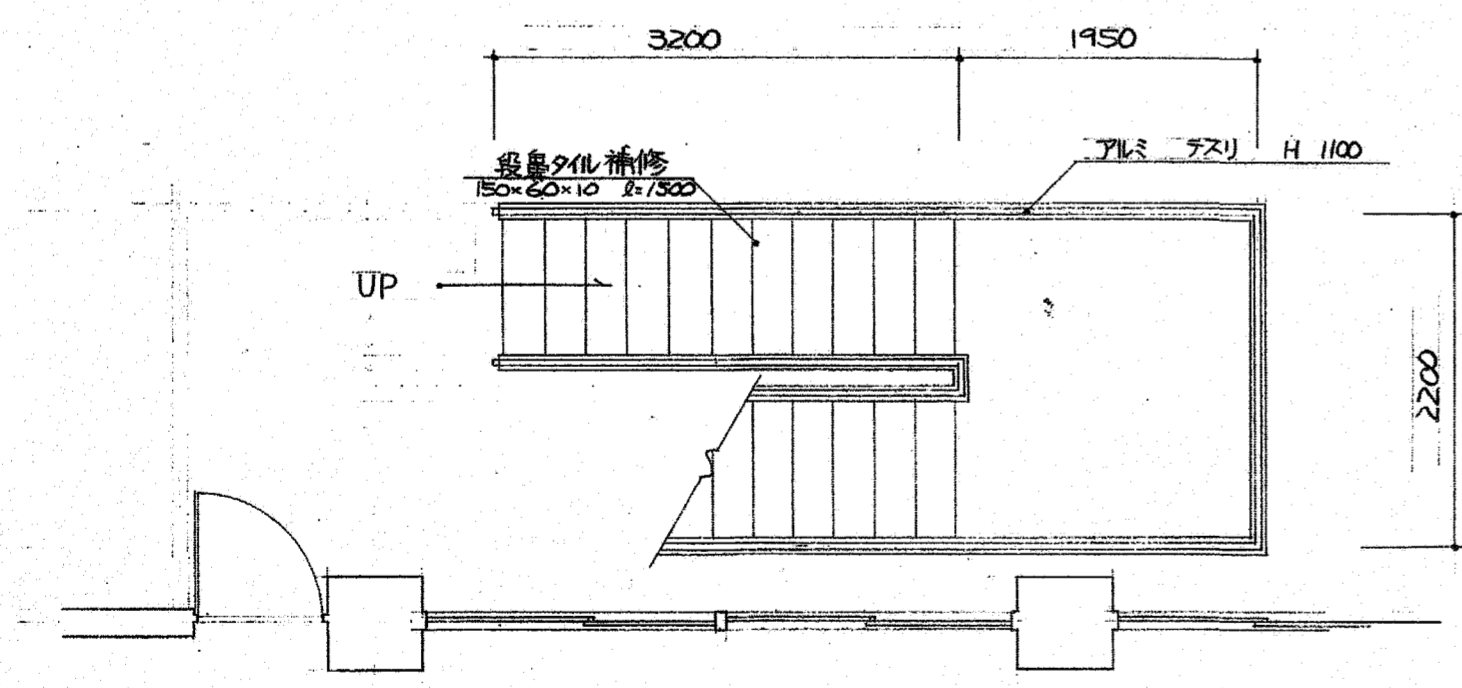
高知市 都市建設部 公共建築課		工事名	浦戸小学校西舎外壁改修工事				係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		図面名	屋外鉄骨階段詳細図2【参考図】				縮尺	1/30, 50		作図	年 月 日
		A-18									



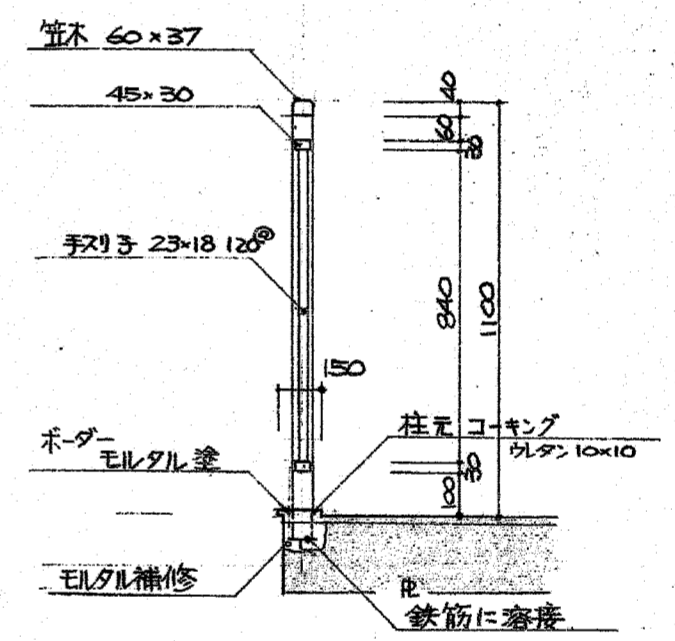
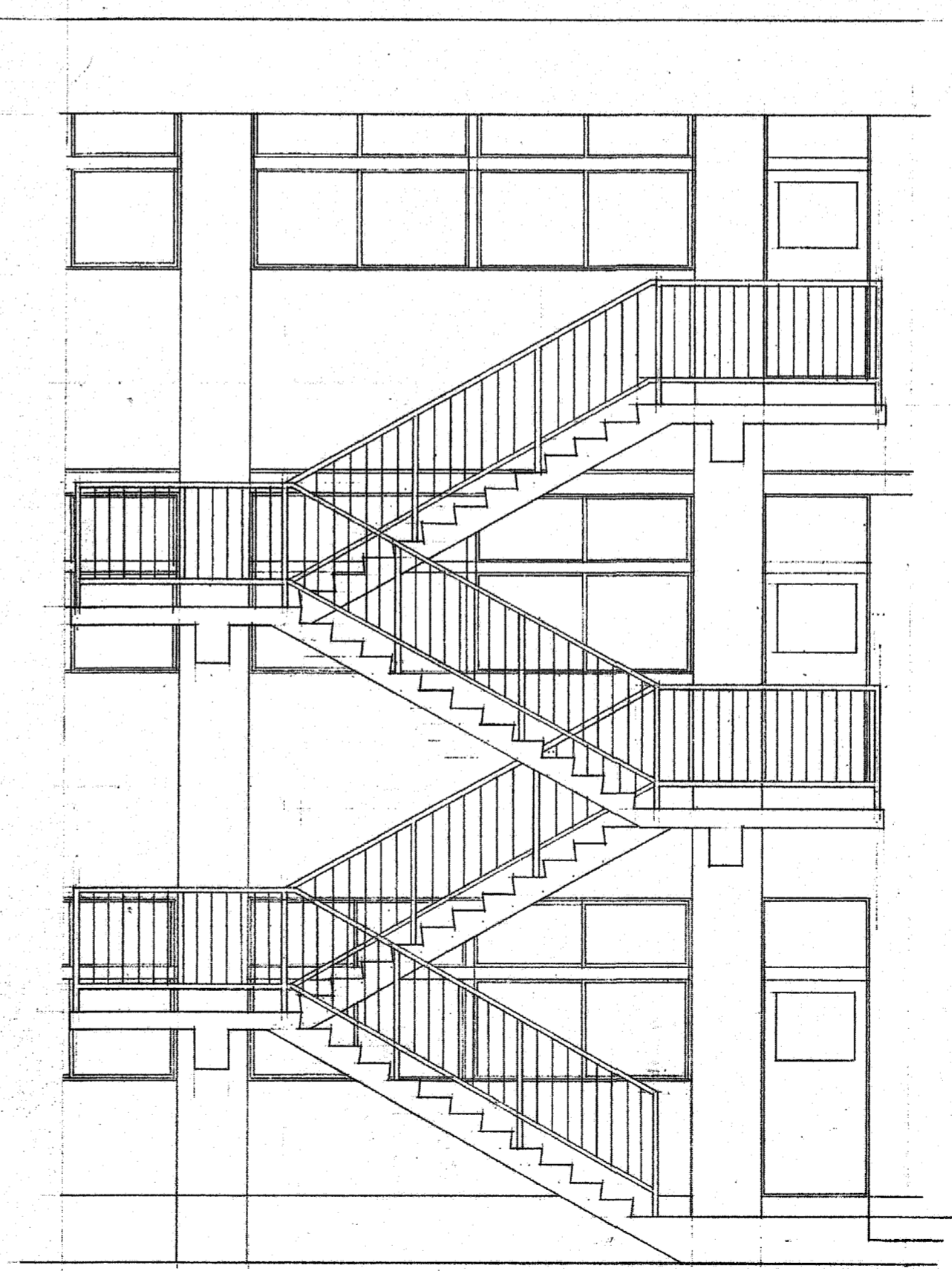
3階平面図



2階平面図



1階平面図



新設アルミ手摺 詳細図 1/20

【参考図】

高知市 都市建設部 公共建築課		工事名	浦戸小学校西舎外壁改修工事				係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		図面名	屋外階段詳細図【参考図】				縮尺	1/20、50		作図	年 月 日
											A-19